

# 富士見町を 共に創り、次世代に繋ぐ 住民懇談会

富士見町の未来について考える対話の  
会

空の  
恵みが  
届く町



富士見町  
Fujimi town

# 住民懇談会の目的

1

✓ 「選択と投資」に対する理解の促進

2

✓ 「共に創る」住民参加のまちづくりの促進



3

✓ 今後はテーマごとの対話の会へ





# 本日の流れ

## 内容

＊昨年度までの住民懇談会とは内容を大きく変更しています。

### 情報共有

- ① 課題（人口推計や財政シミュレーション）と可能性
- ② 住民福祉の維持向上のために必要な「選択と投資」の政策



### グループワーク

- ① 選択（支出減）と投資（収入増）のために住民・行政ができること
- ② 各グループで話し合った内容を全体に共有



# 01 課題

---

# 02 可能性

---

# 03 施策

---



前半：情報共有

# 01 課題

---

## 02 可能性

---

## 03 施策

---



前半：情報共有





# 行政の役割は？






# 地方自治体の役割 住民の福祉の増進

地方自治法第一条の二

地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本として、  
地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものとする



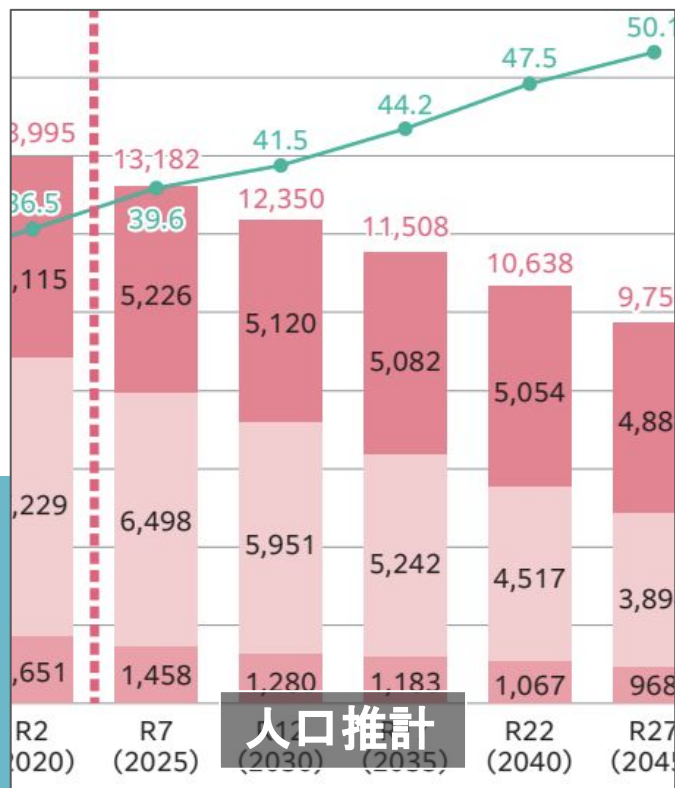


**富士見町の暮らしをこれまで通り  
10年後も支え続けられるか？**



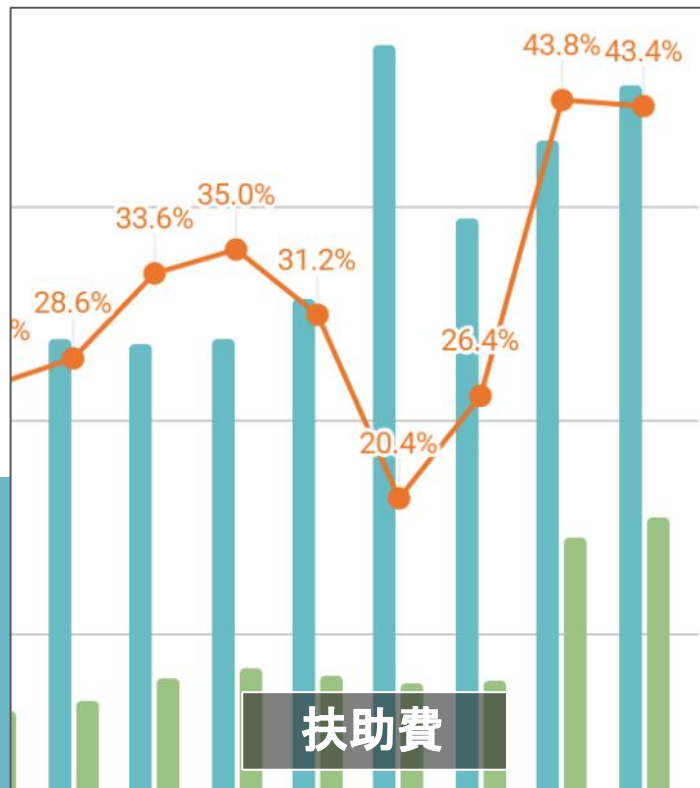


# 富士見町のこれからの課題



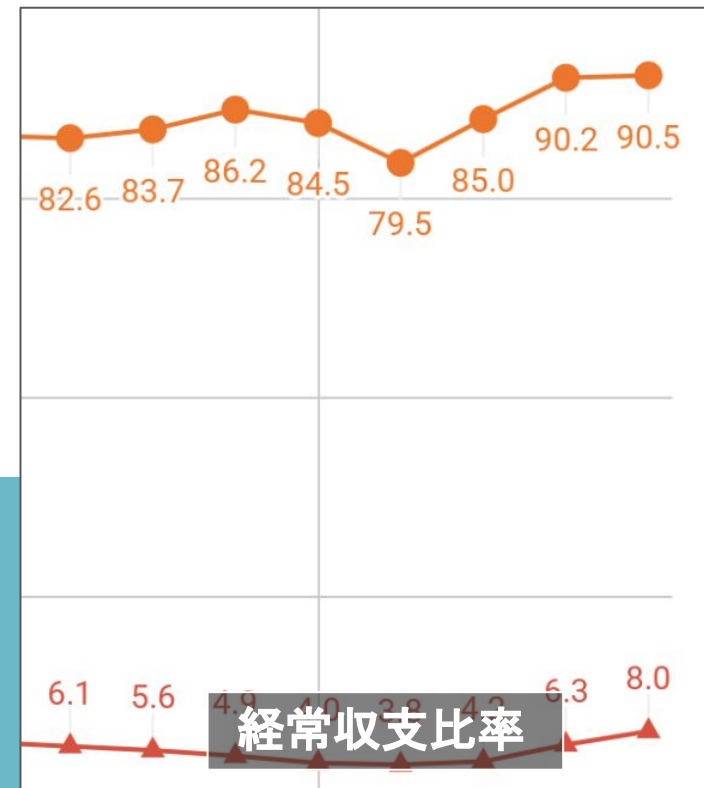
## ① 収入減

生産年齢人口減



## ② 支出増

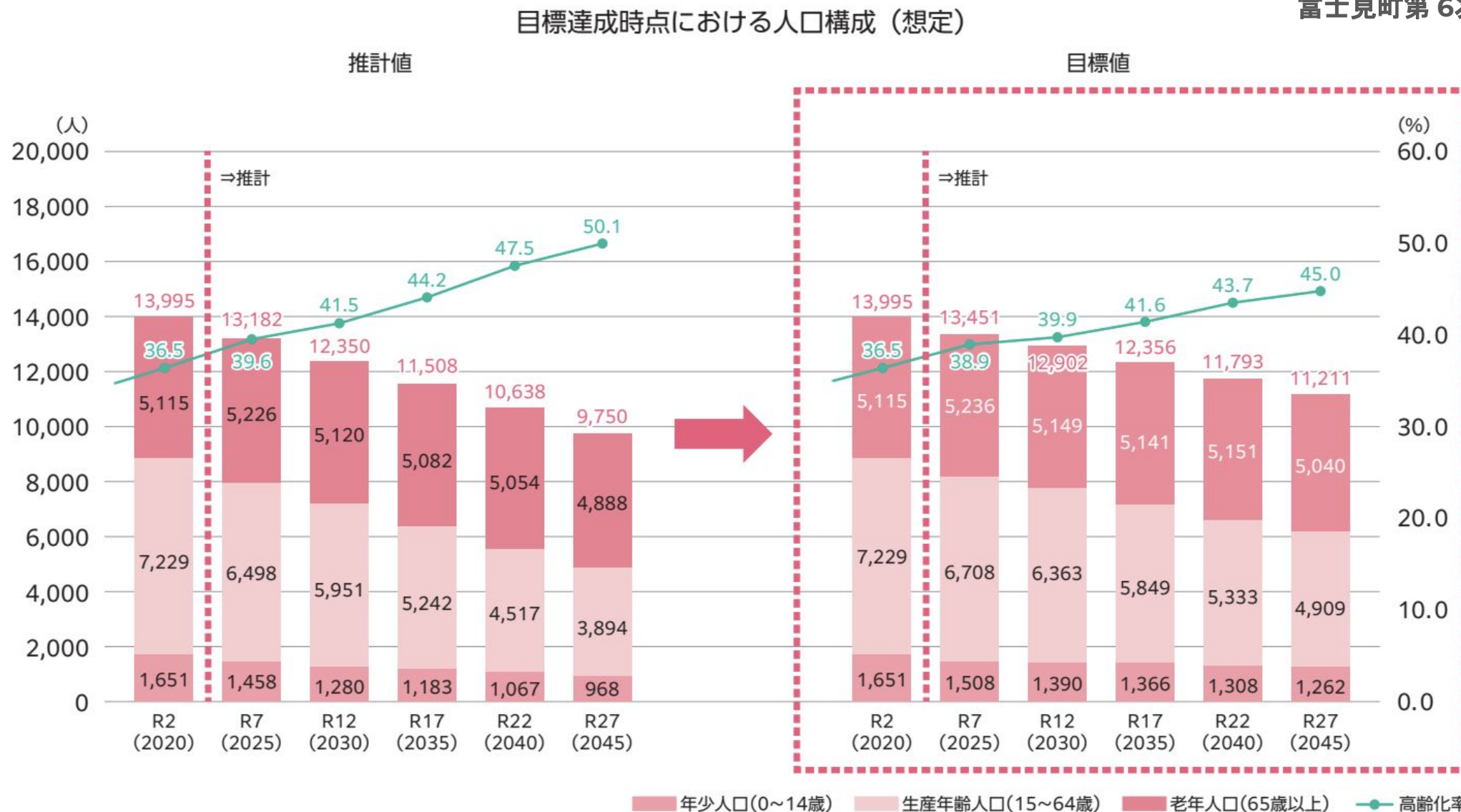
公共施設/インフラ維持費・  
扶助費増



## ③ 行財政改革の 必要性

# 課題① 生産年齢人口減による税収減となり手不足

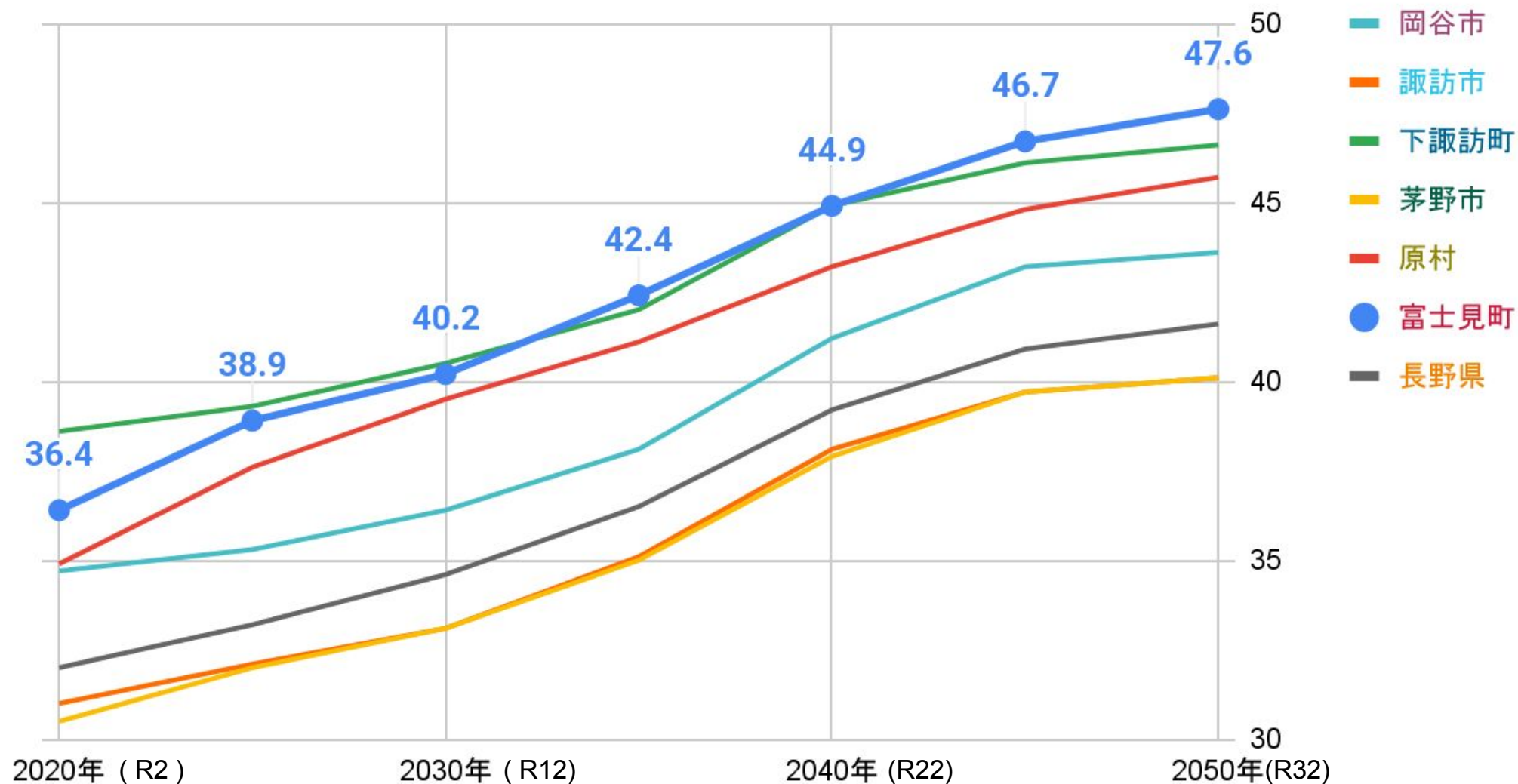
富土見町第6次総合計画





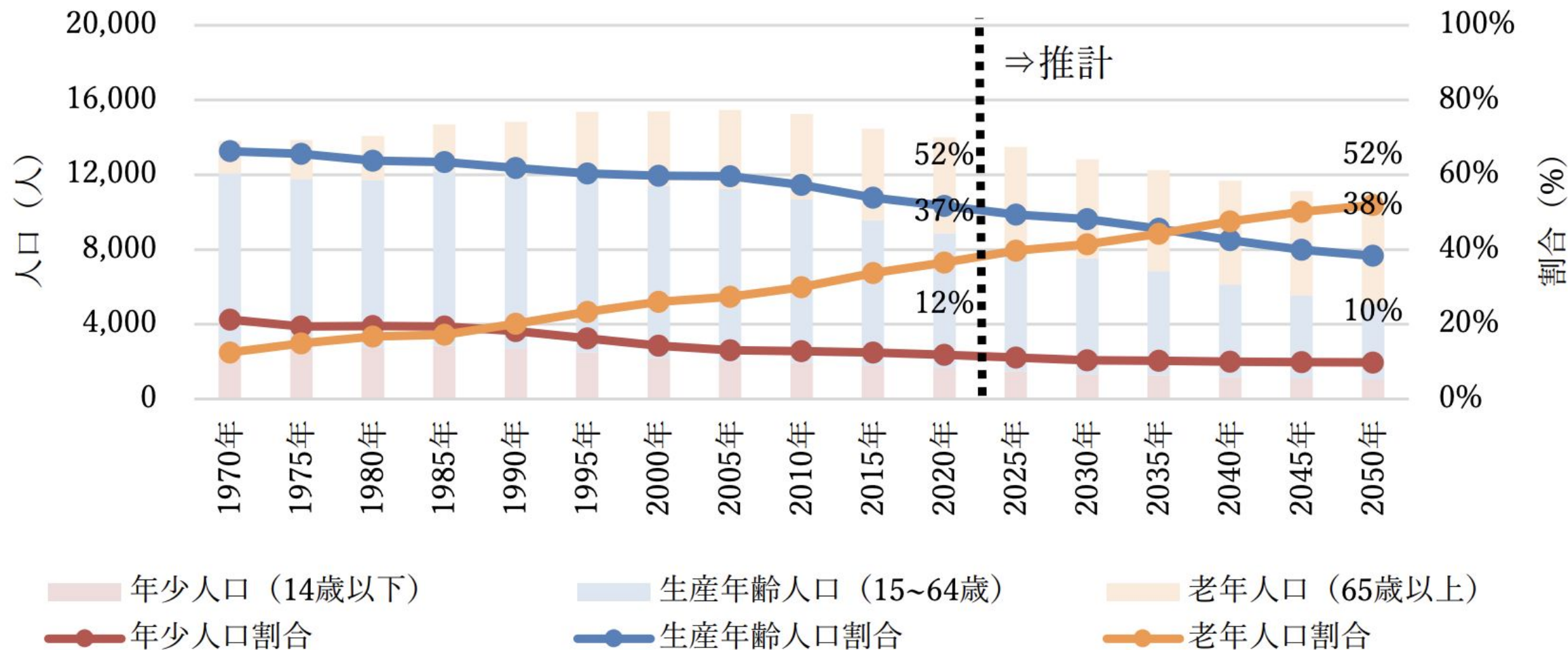
## 課題① 生産年齢人口減による税収減となり手不足

### 高齢化率 諏訪6市町村推計(社人研)



# 課題① 生産年齢人口減による税収減となり手不足

富士見町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)  
国勢調査および国立社会保障・人口問題研究所





## 課題② 公共施設/インフラ維持費や扶助費増による支出増

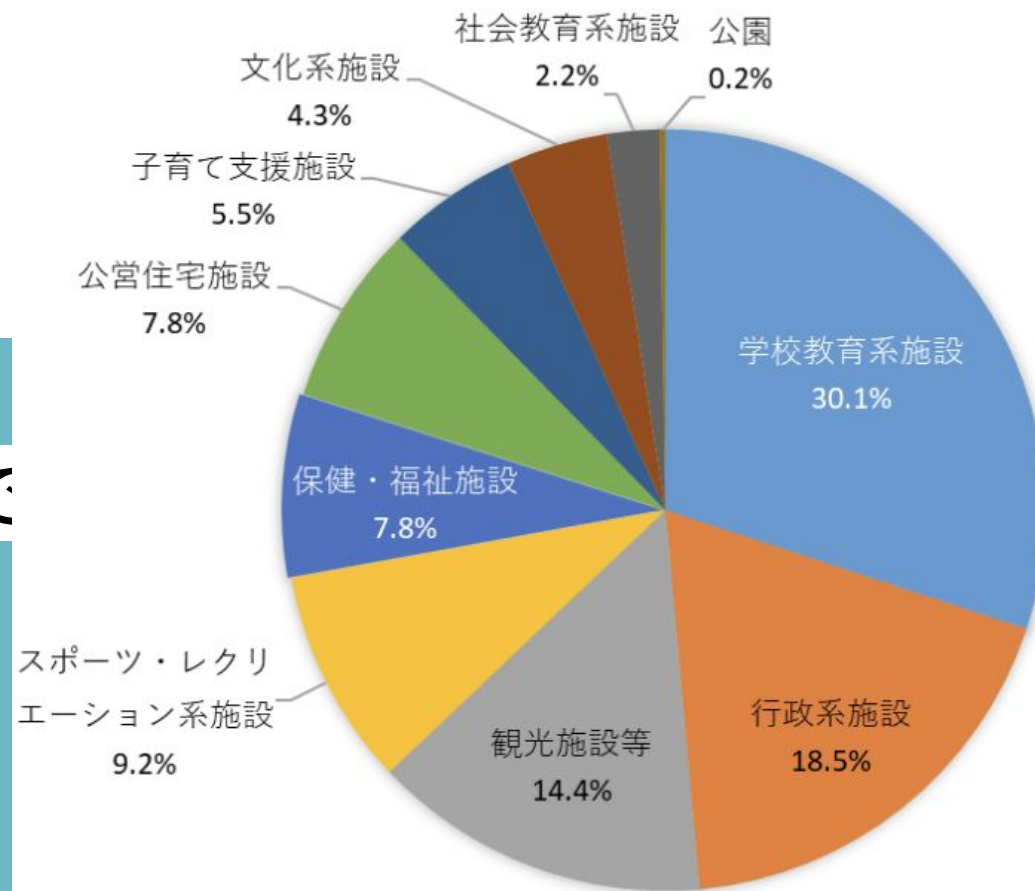
### 富士見町公共施設等総合管理計画

老朽化する82の公共施設

181の橋、道路にかかる

2056年までの費用は約**555億円**。

「富士見町公共施設等総合管理計画」では2056年までに公共施設延床面積**38%削減**の目標を掲げている。



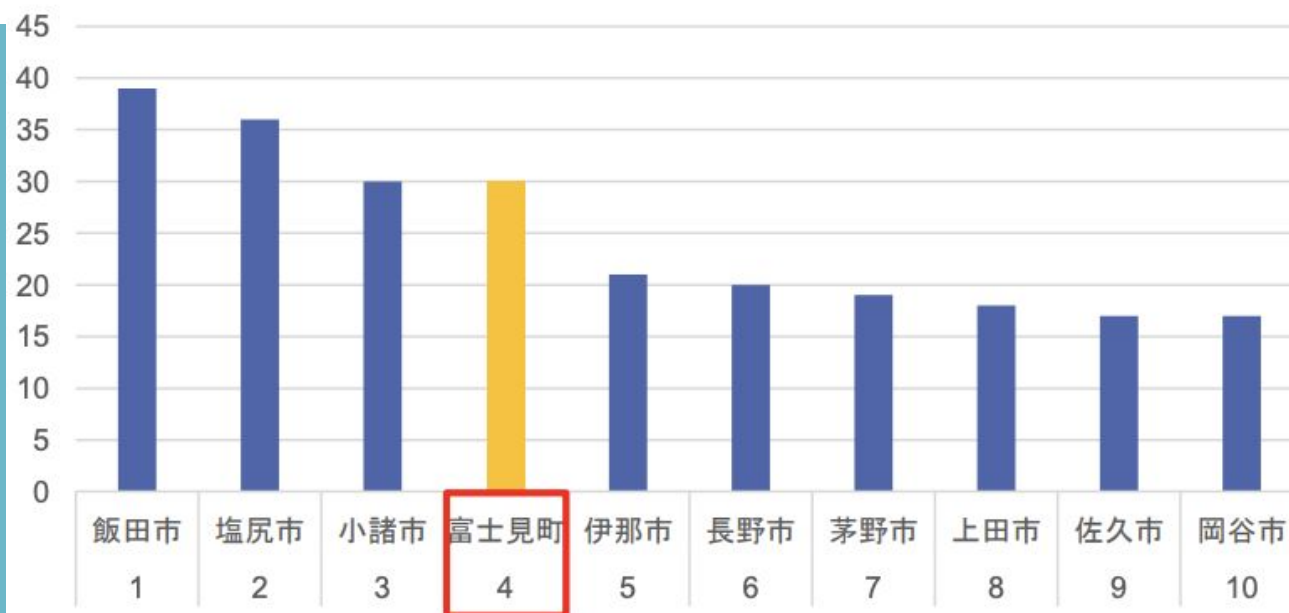
## 課題② 公共施設/インフラ維持費や扶助費増による支出増

### 第1回 中学校橋検討委員会資料

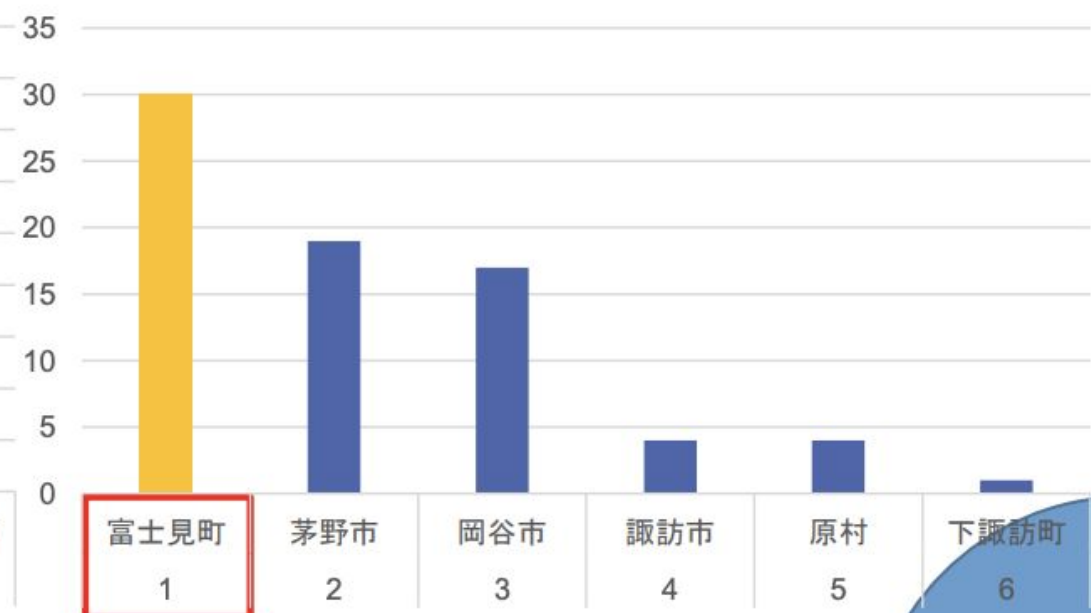
	一般橋梁	NEXCO跨道橋	JR跨線橋
補修設計費	300～500万円	400～600万円	900～1,200万円
補修費	1000～3000万円	4,000～7,000万円	3億～7億円

※橋梁20～30mほどの中規模橋梁に対する一般的な変状に対する参考概算費用

長野県市町村別 JR/NEXCO上空橋梁数(一部)



諏訪圏域別 JR/NEXCO上空橋数

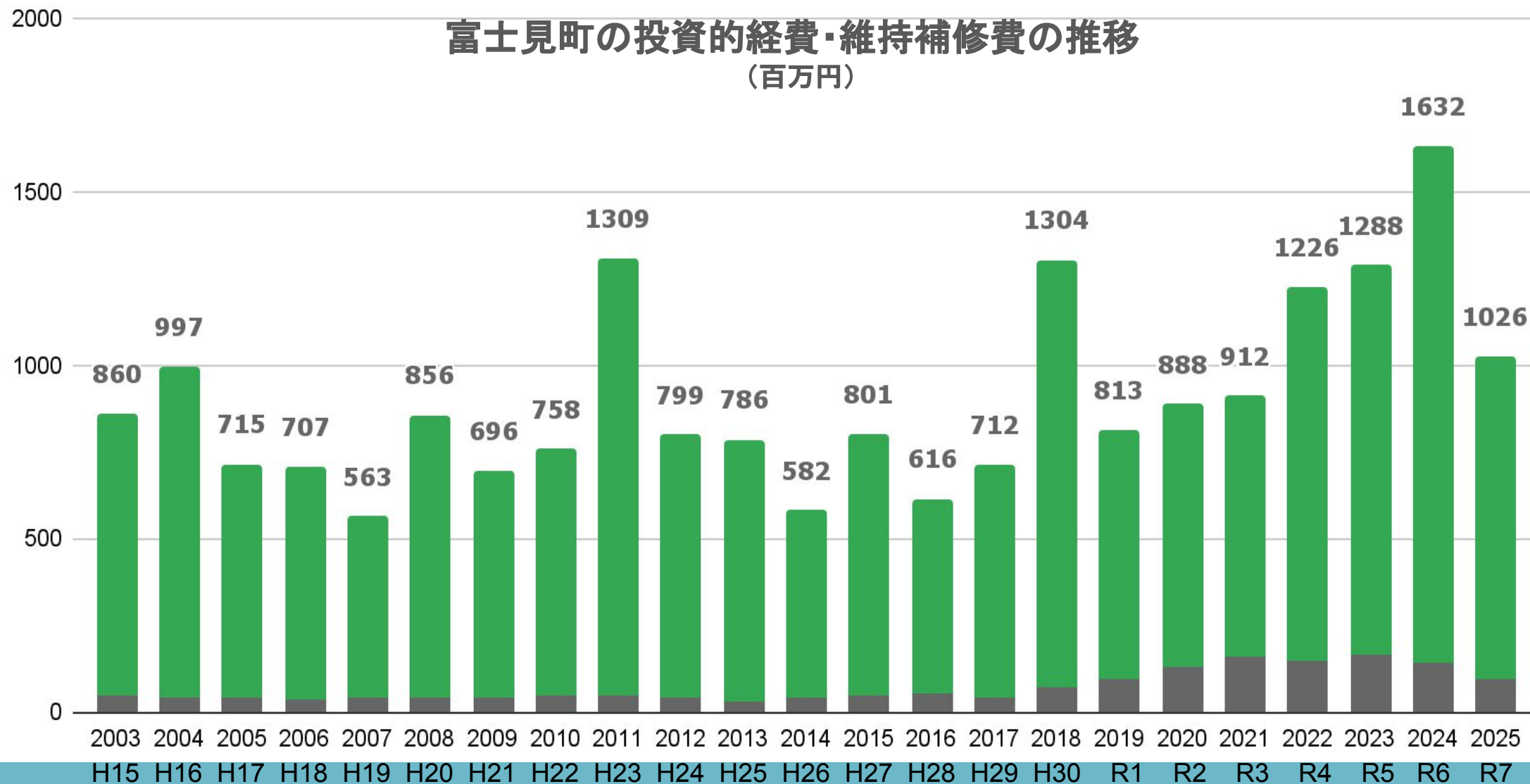




## 課題② 公共施設/インフラ維持費や扶助費増による支出増

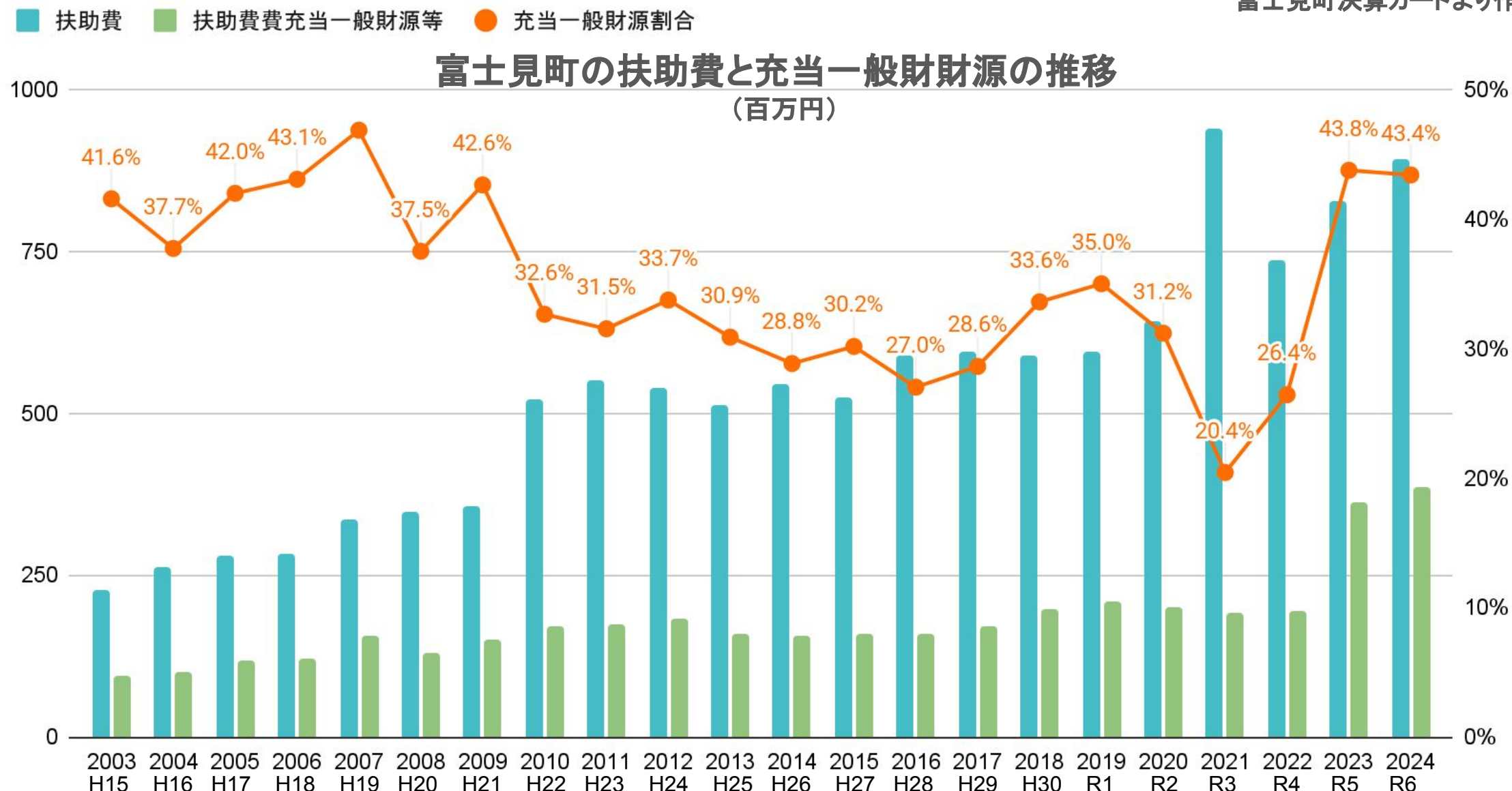
■ 投資的経費 ■ 維持補修費

富士見町決算カードより作成



## 課題② 公共施設/インフラ維持費や扶助費増による支出増

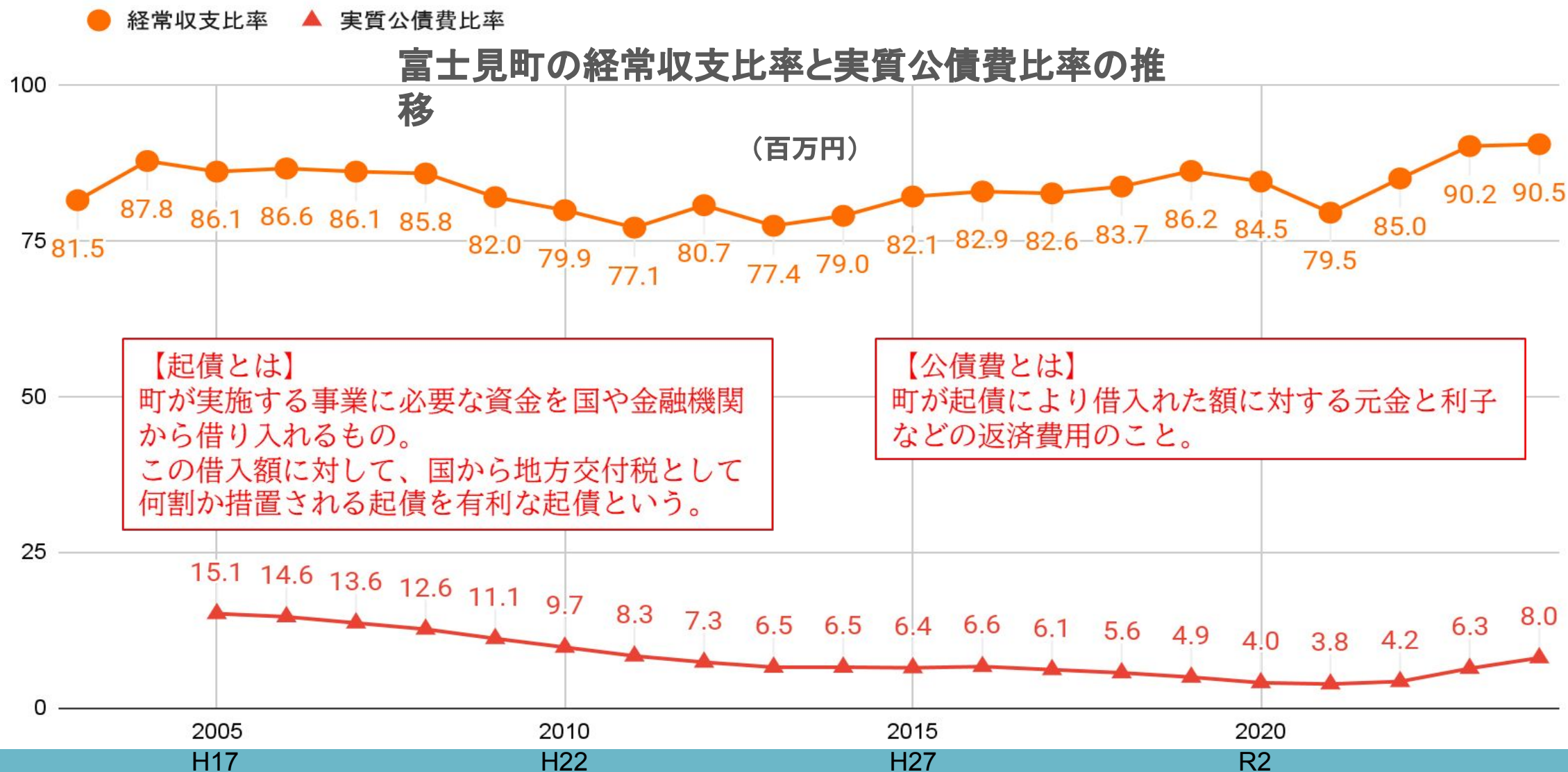
富士見町決算カードより作成





# 課題③ 行財政改革の必要性

富士見町決算カードより作成

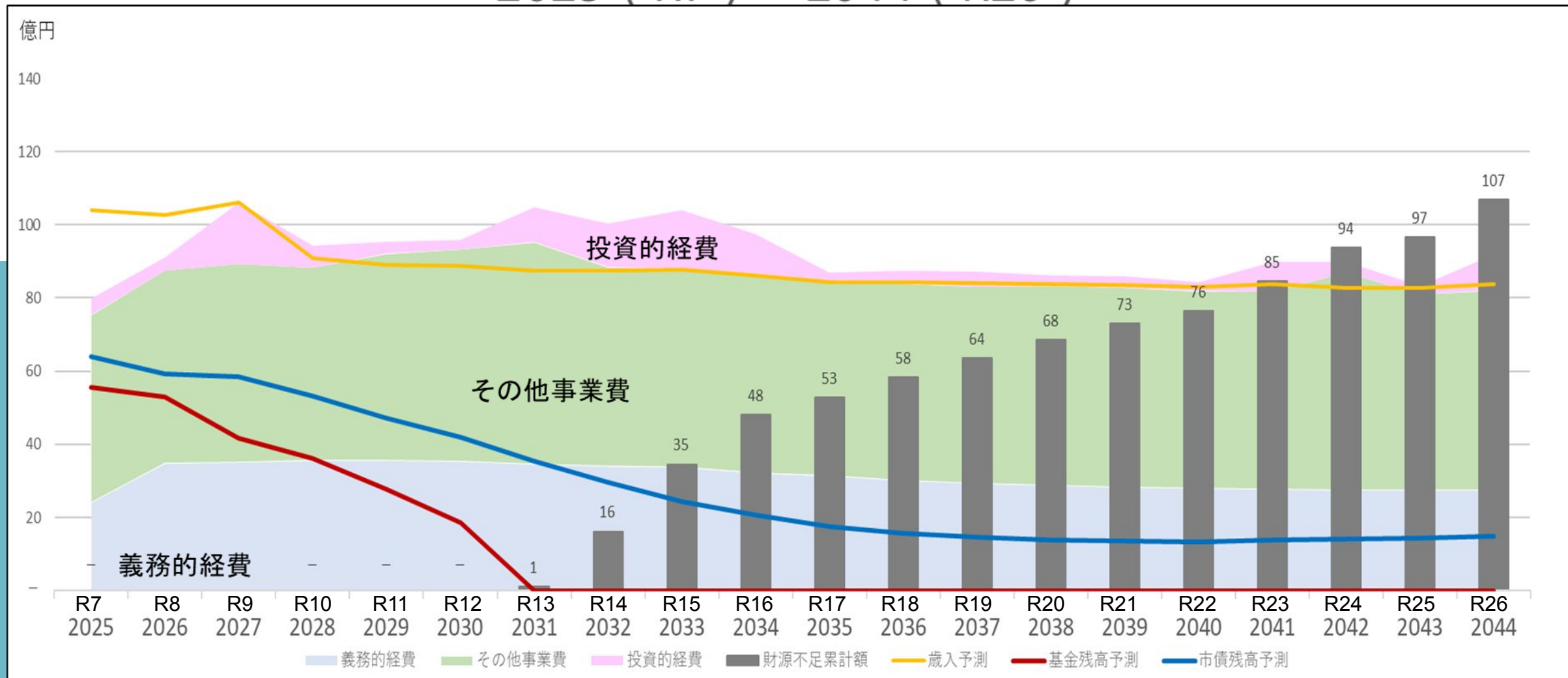




# 課題③ 行財政改革の必要性

## 財政シミュレーション 2025 ( R7 ) ~ 2044 ( R26 )

富士見町公共施設等総合管理計画  
等に基づきトーマツが作成





### 1. 「富士見町公共施設等総合管理計画」策定時の建設・維持修繕費

- パノラマリゾート施設改修は金額未定のため含めていない
- 中学校改修や旧南中学校の解体費用など現時点で計画のない費用は含めていない
- 小学校は統廃合案のまま
- 国庫補助率 50%

### 2. 人件費・物件費 10年間上昇（物価上昇を考慮した見込み）

### 3. 町独自の起債シミュレーションを反映

### 4. 基金積立金 7億円/年（ふるさと納税毎年 4億円+財調/減債過去5年平均額）

### 5. 基金全体総額を町の貯金として算定


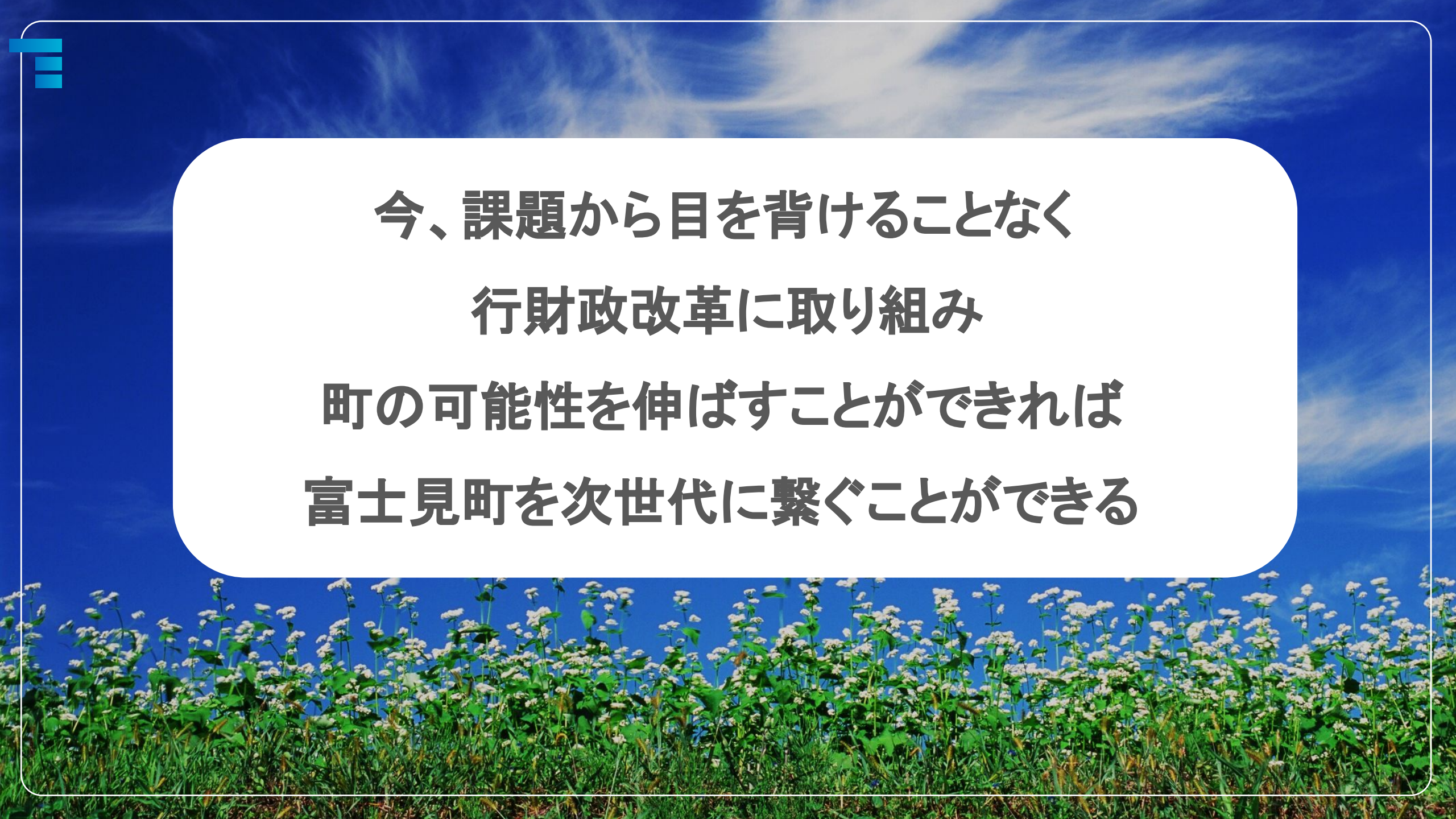
### ➡ 実情に近づけた場合

さらに悪いシミュレーション結果となる可能性がある

財政シミュレーションから見えてきたもの  
⇒行政サービスを維持し続けるための対策が必要

- 推計の精度向上（LCC見直し）  
⇒計画的な事業の遂行⇒計画的な予算配分につながる
- 事業内容・規模の見直し  
⇒各課事業（全体）における収入増対策、歳出減対策を  
ひとり一人が自分ごととして考えること
- 特定財源の確保  
⇒一財の持出を減らすため、財源獲得、行政アドバイザー活用





今、課題から目を背けることなく  
行財政改革に取り組み  
町の可能性を伸ばすことができれば  
富士見町を次世代に繋ぐことができる



# 01 課題

---

# 02 可能性

---

# 03 施策

---



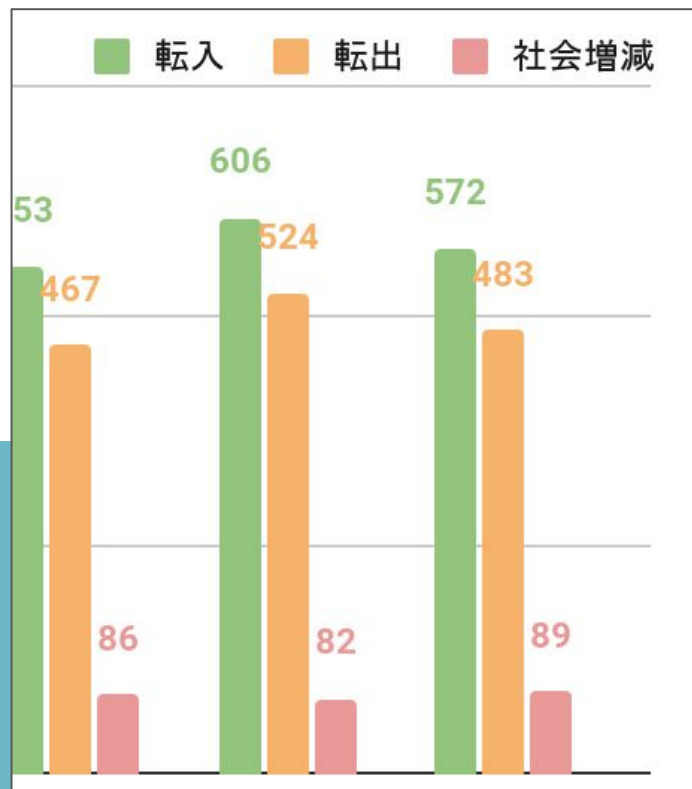
前半：情報共有



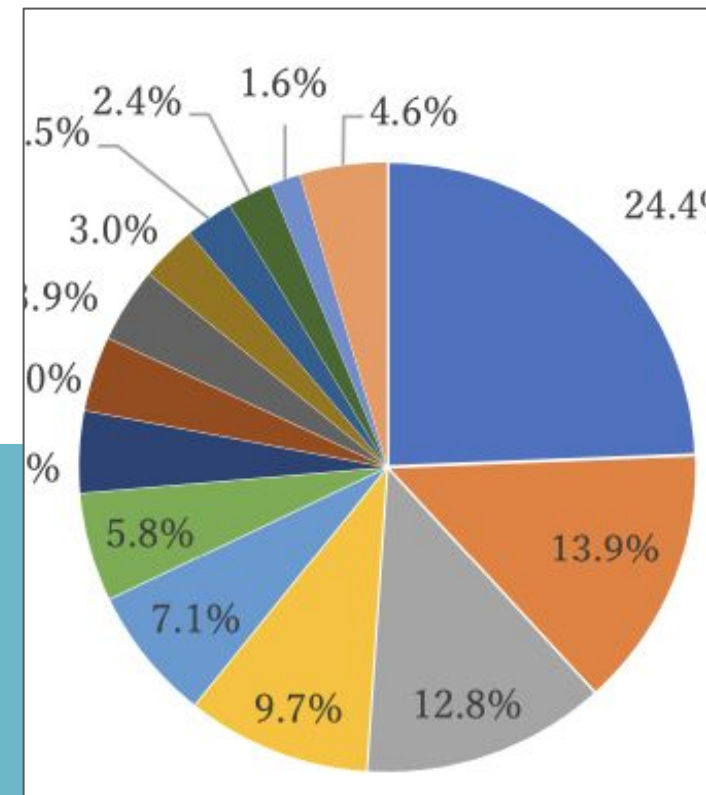
# 富士見町の可能性



① 本当の豊かさ



② 社会増



③ 産業基盤



## 可能性① 本当の豊かさのあるまち



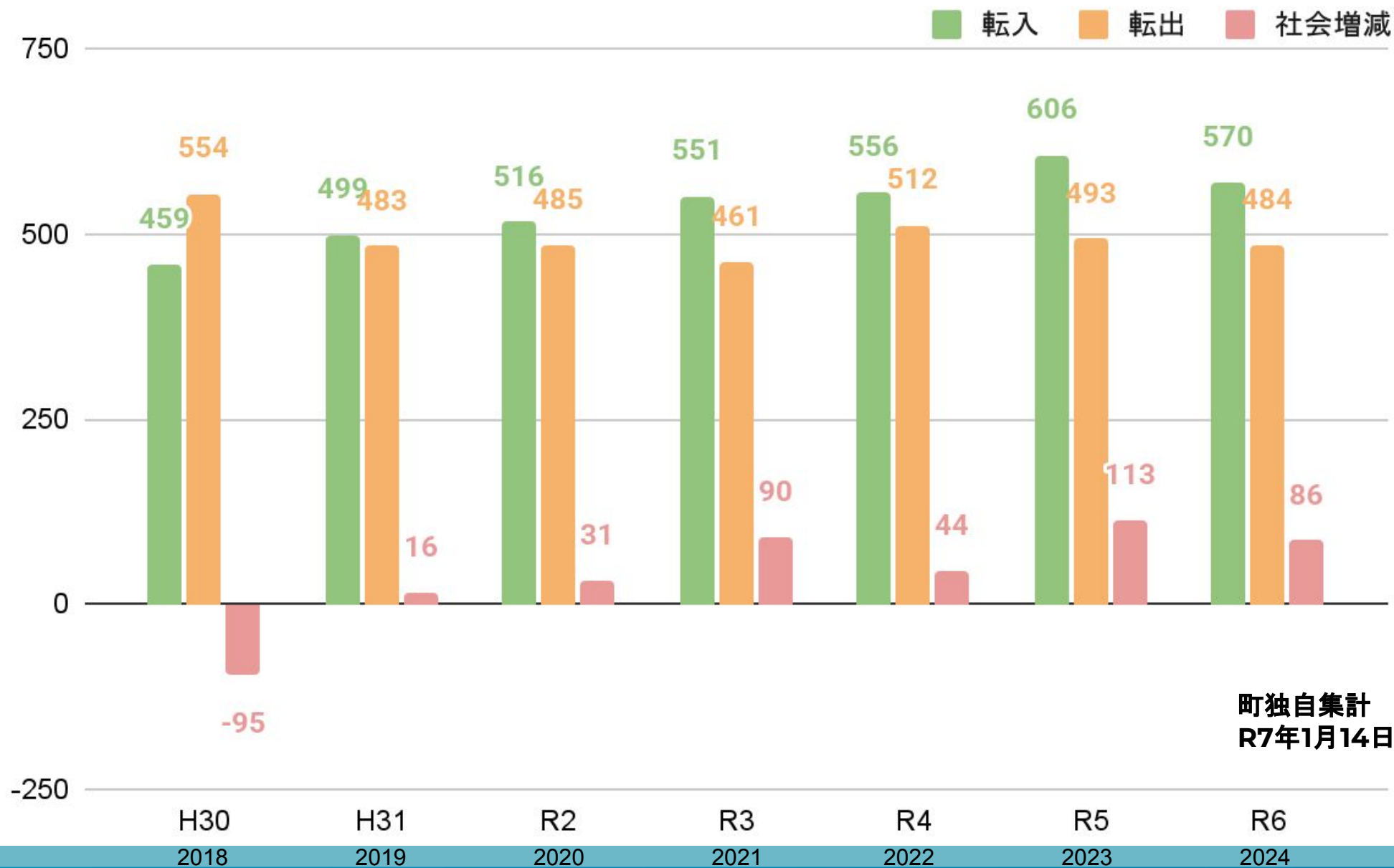


## 可能性① 本当の豊かさのあるまち





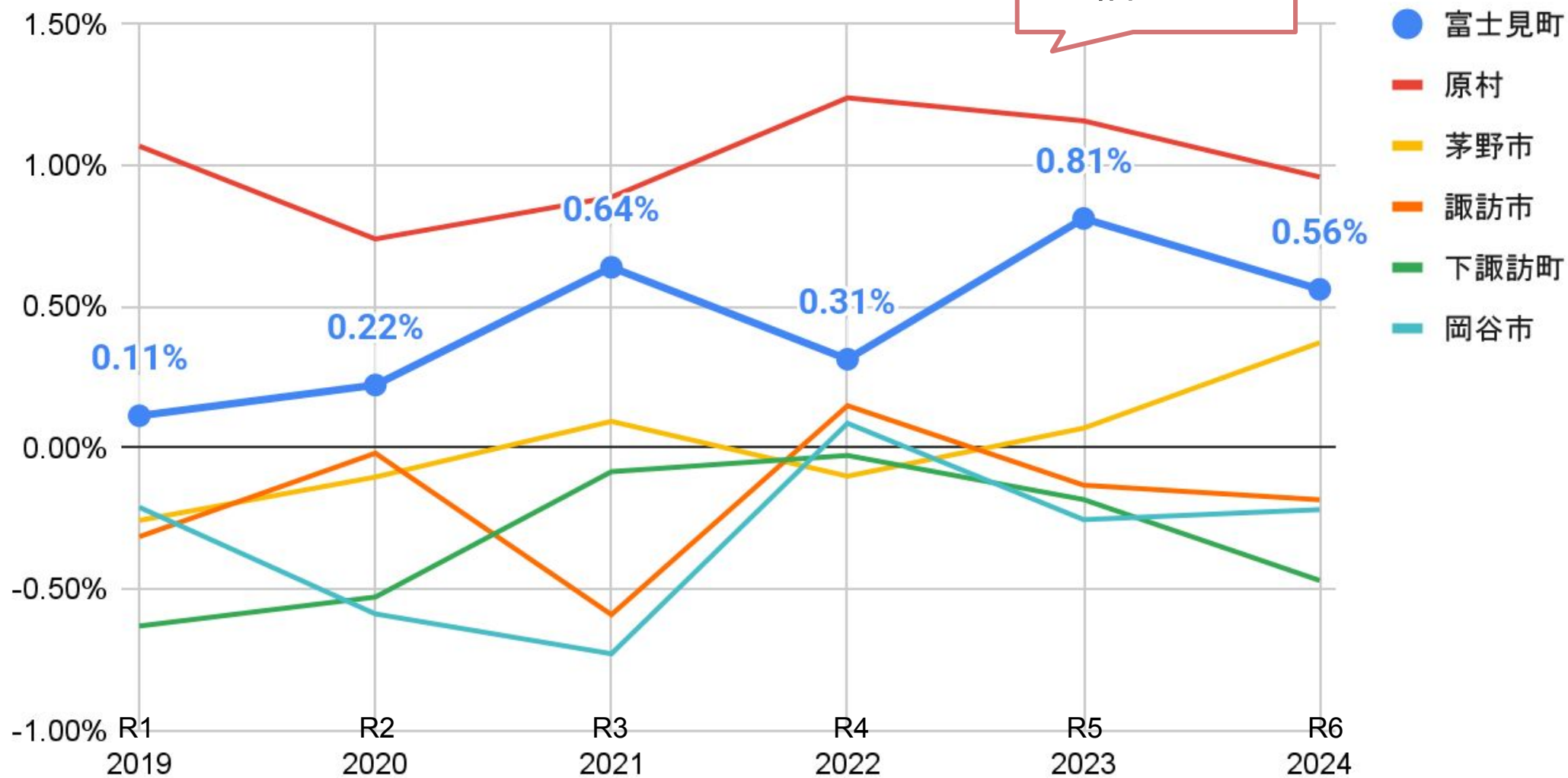
## 可能性② 社会増





## 可能性② 社会増

### 社会増減率 諏訪6市町村推移比較





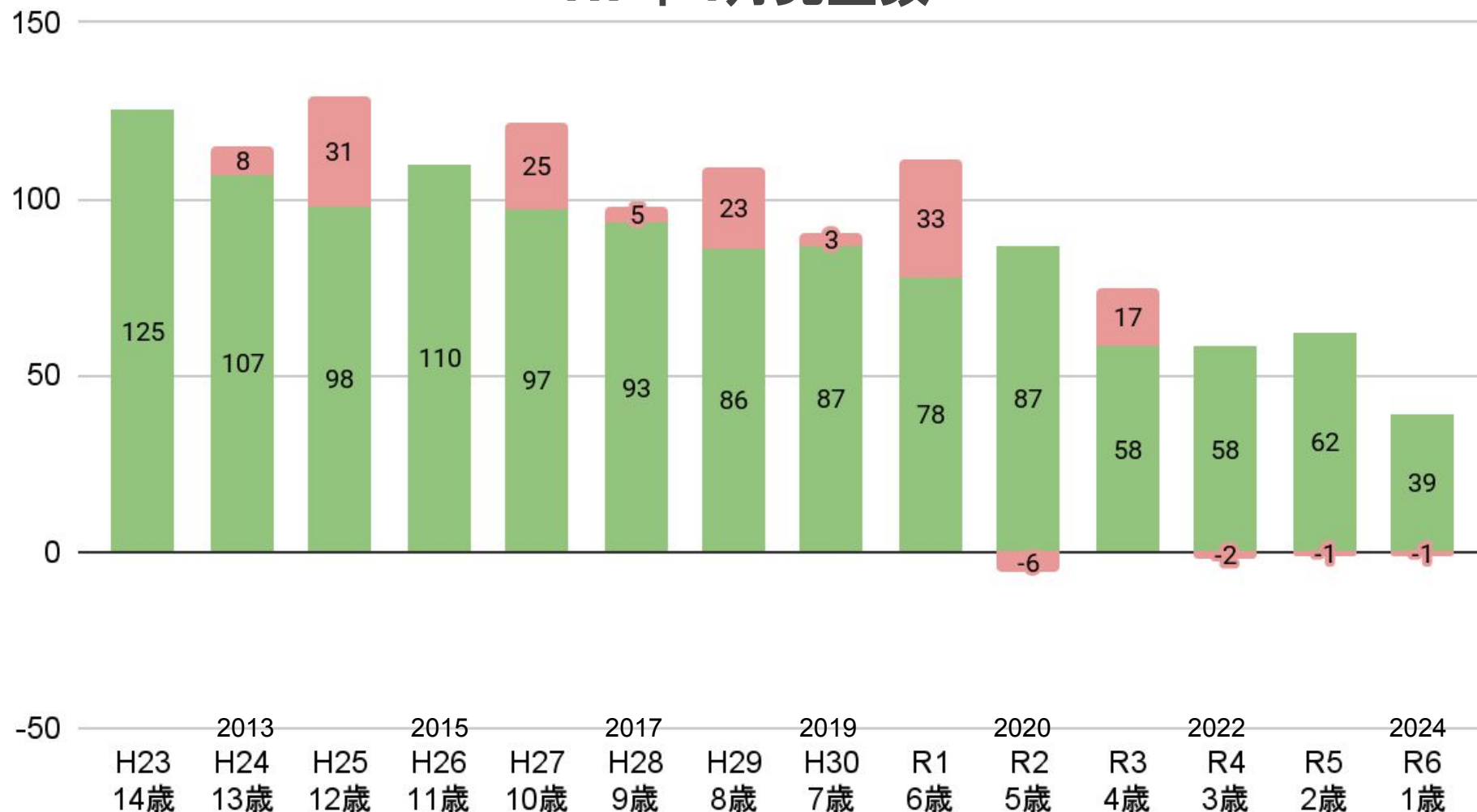


## 可能性② 社会増

### 富士見町の毎年の出生数と R7年4月児童数

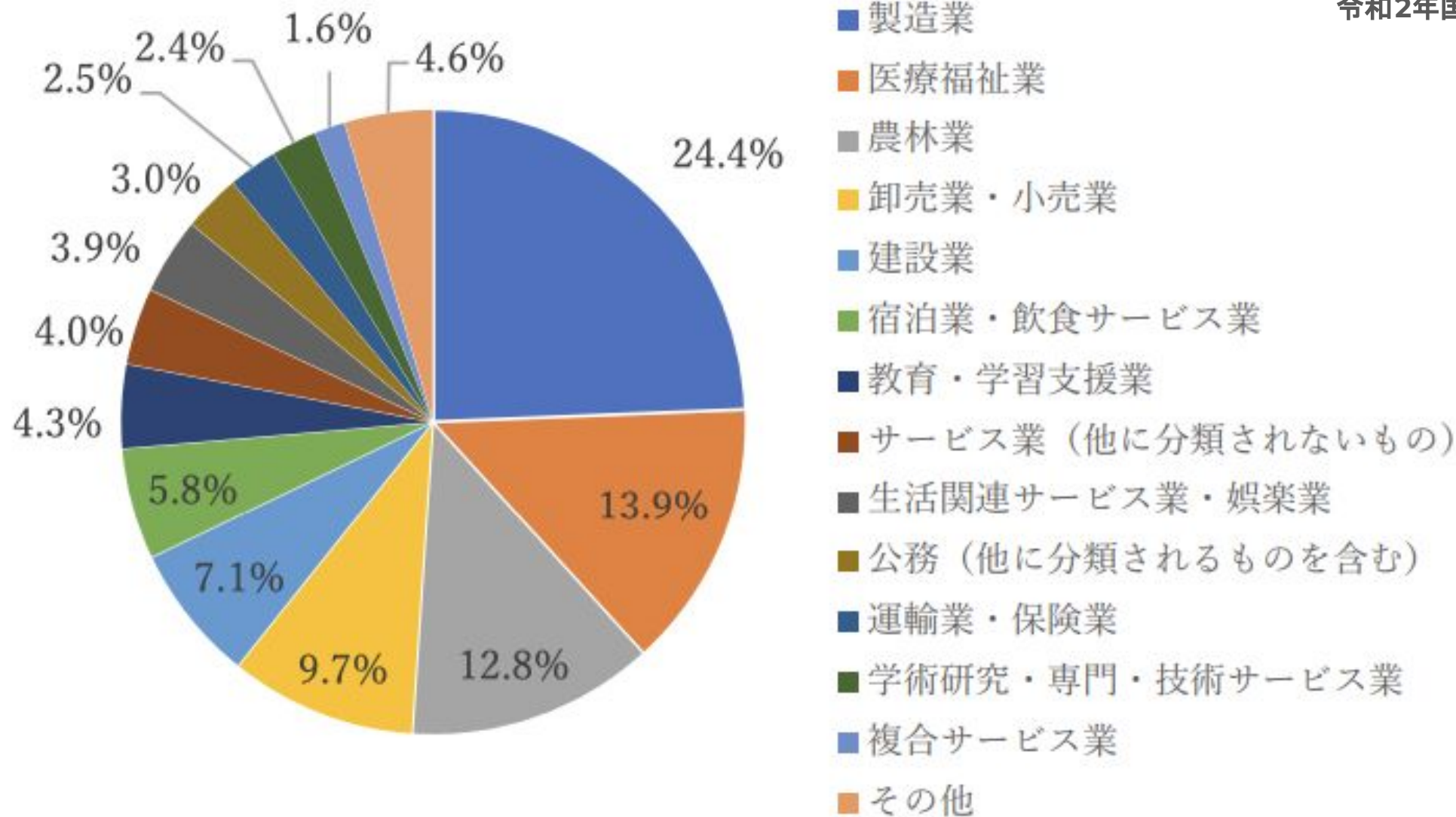
R7年4月1日時点の  
富士見町人口集計表から作成

社会増 出生数

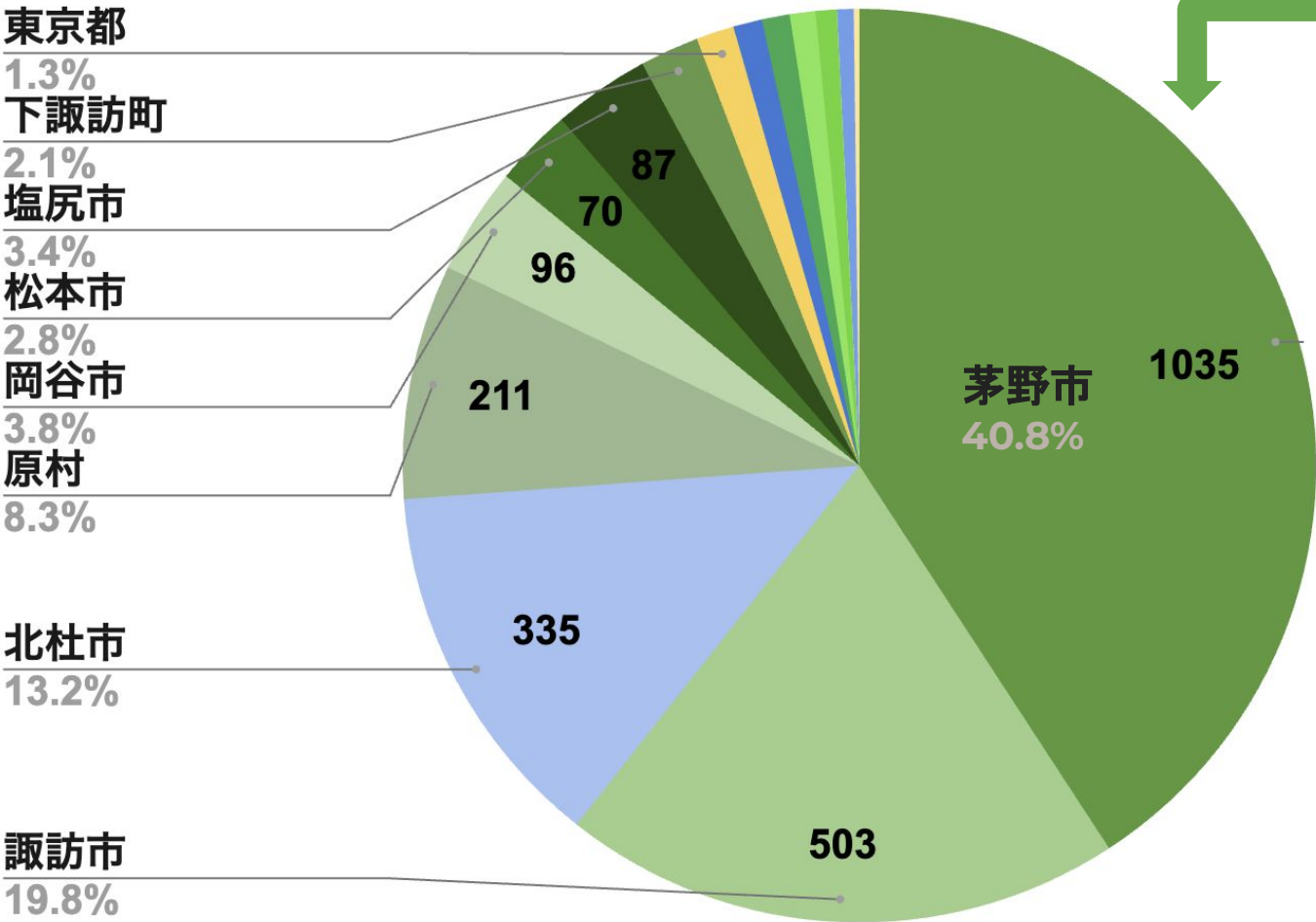


## 可能性③ 多様で伸びしろのある産業基盤

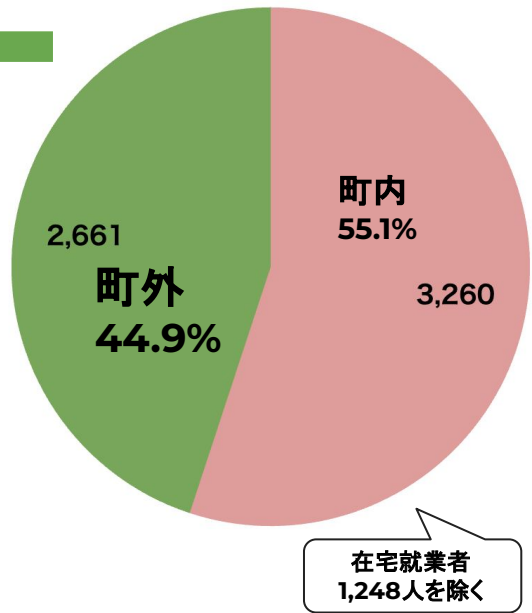
富士見町脱炭素ビジョン  
令和2年国勢調査



## 富士見町 町外就業者2,661人の就業地



富士見町出勤者5,921人の就業地



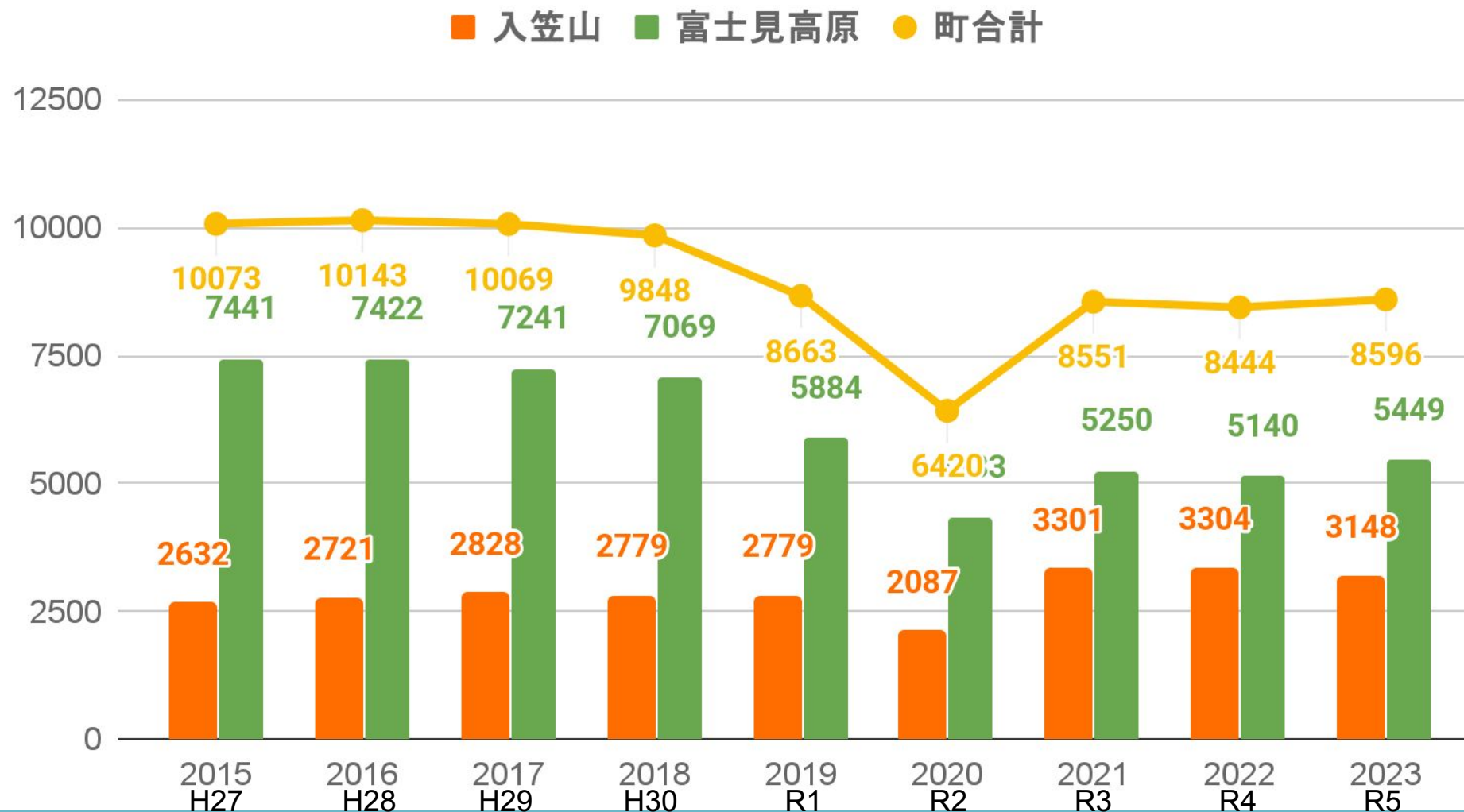




## 可能性③ 多様で伸びしろのある産業基盤

富士見町観光地利用者統計調査

観光地利用者数(百人)

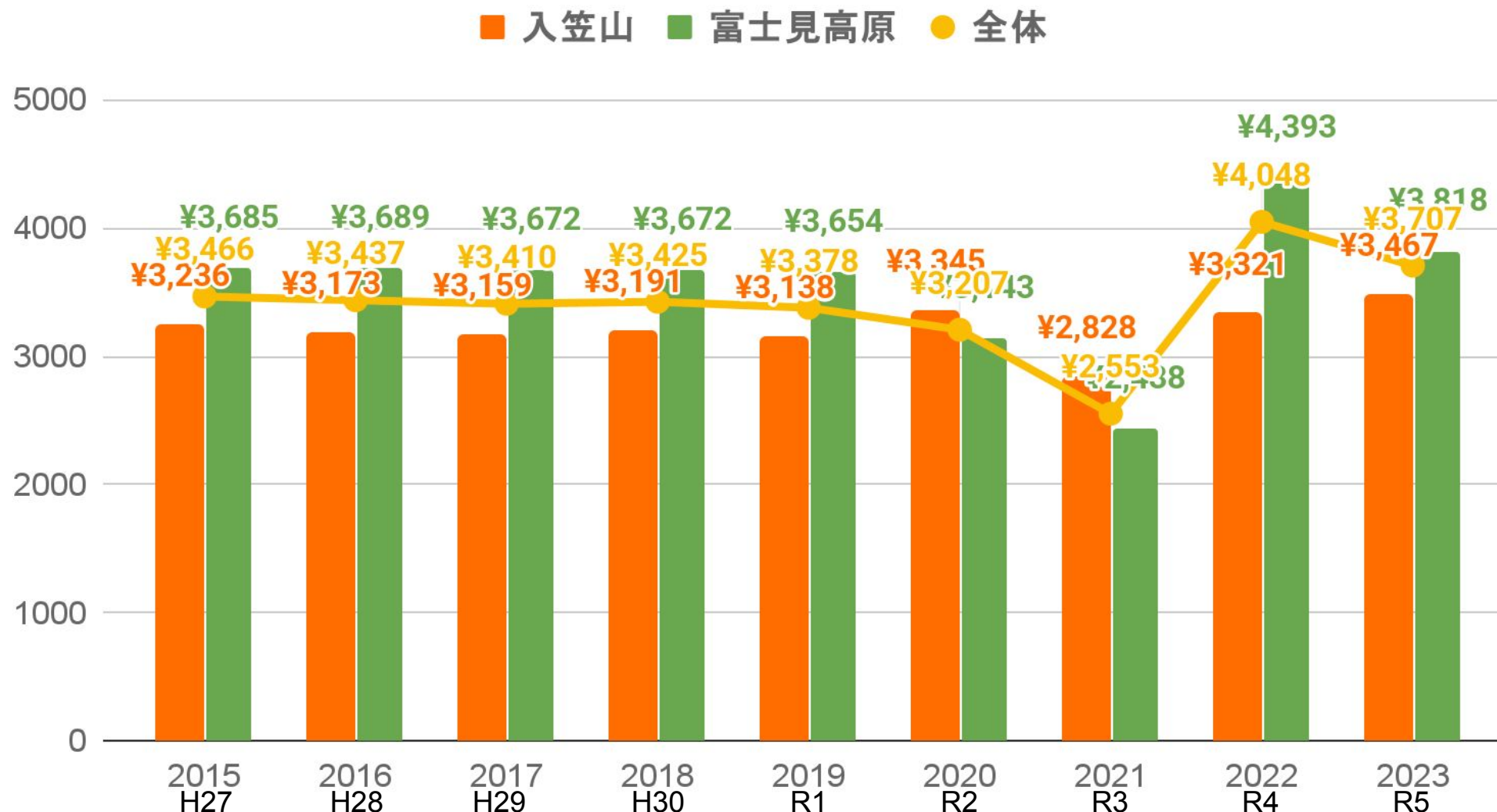




## 可能性③ 多様で伸びしろのある産業基盤

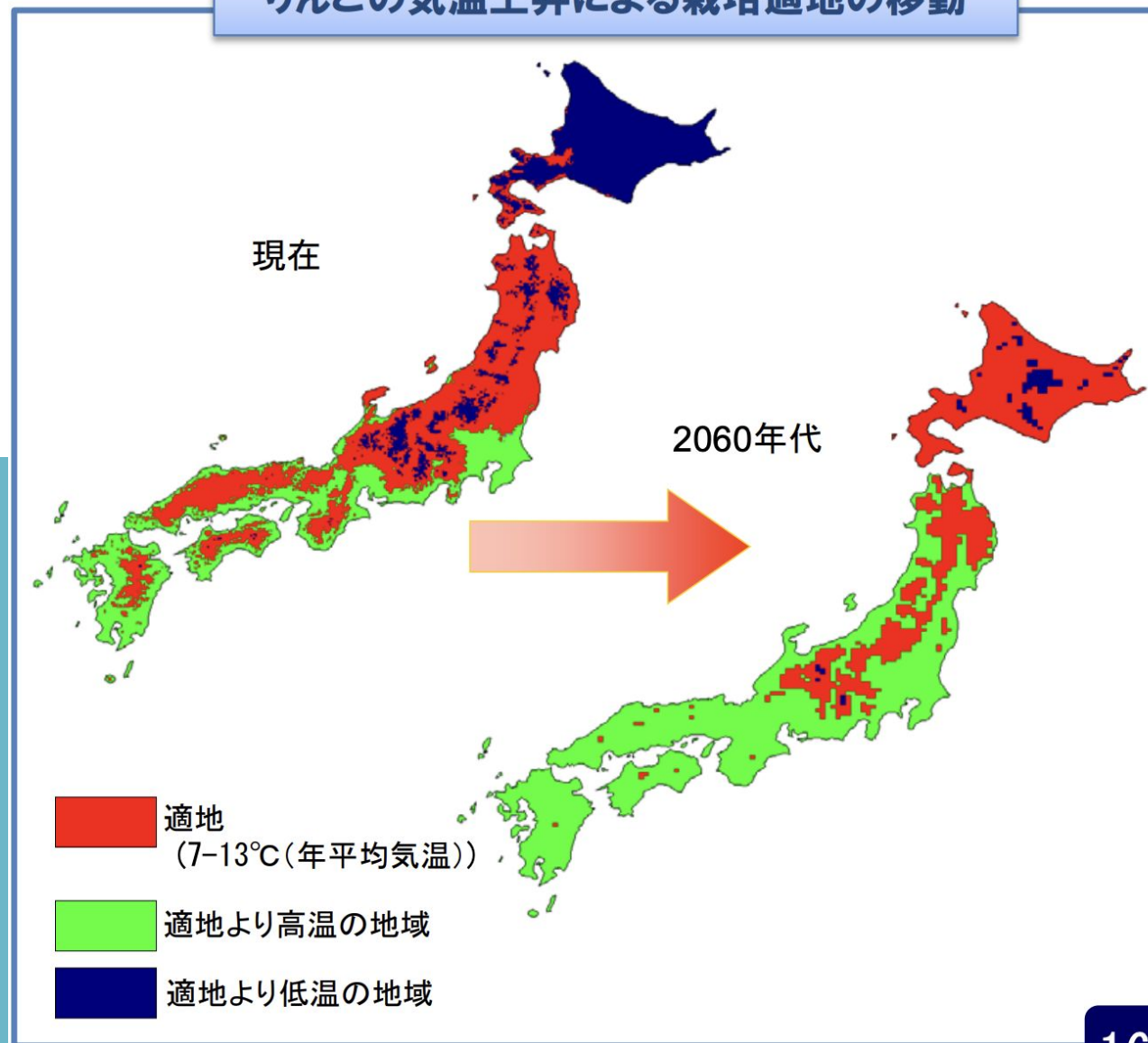
### 平均観光消費額

富士見町観光地利用者統計調査



## 可能性③ 多様で伸びしろのある産業基盤

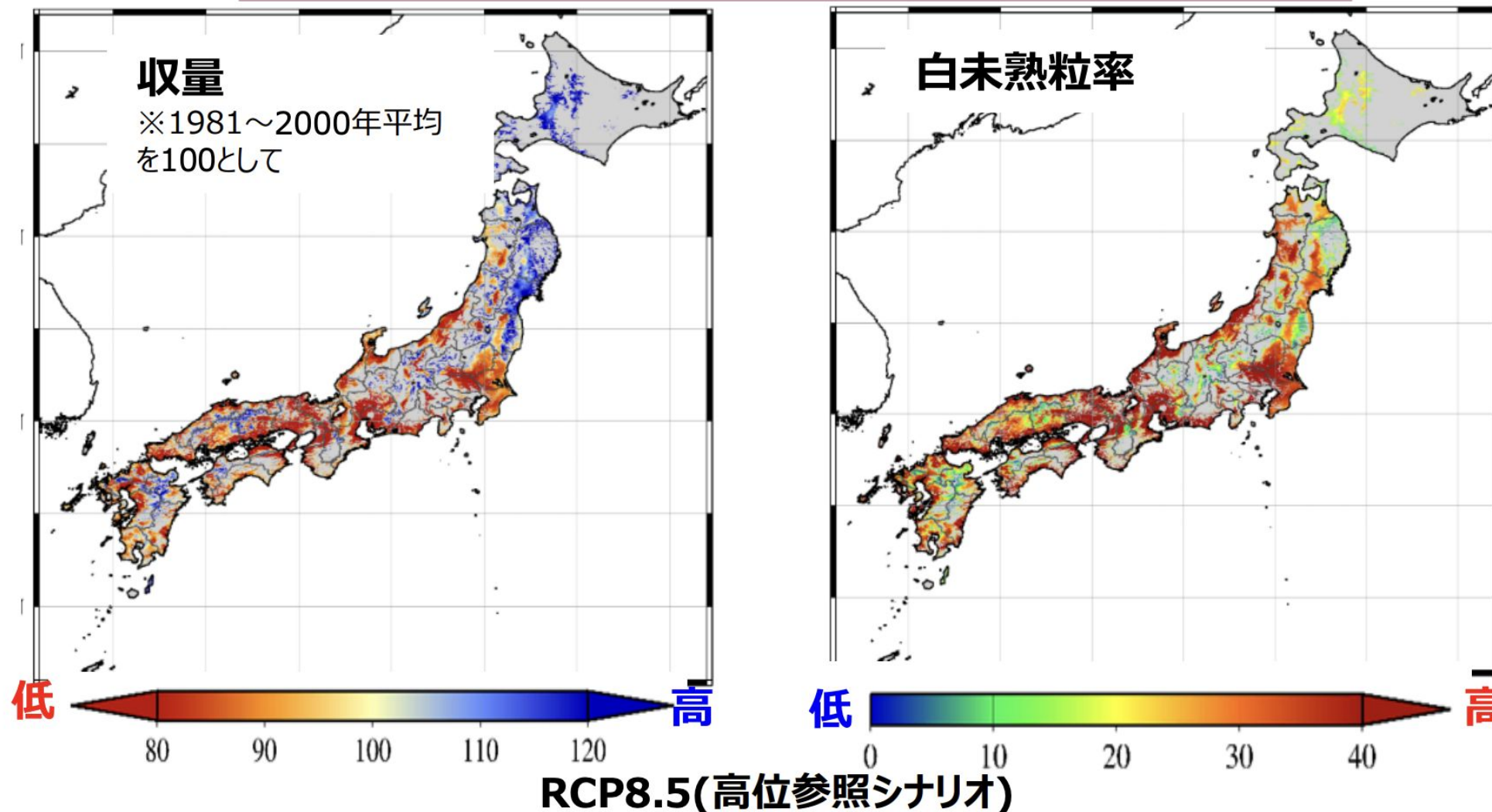
### りんごの気温上昇による栽培適地の移動





## 可能性③ 多様で伸びしろのある産業基盤

### 水稻の2081年～2100年の収量及び白未熟粒率予測



資料 : Yasushi ISHIGOOKA, Toshihiro HASEGAWA, Tsuneo KUWAGATA, Motoki NISHIMORI, Hitomi WAKATSUKI (2021) Revision of estimates of climate change impacts on rice yield and quality in Japan by considering the combined effects of temperature and CO2 concentration. Journal of Agricultural Meteorology, 77 (2), 139-149, doi:10.2480/agrmet.D-20-00038 (Licensed under CC BY 4.0)

空の  
恵みが  
届く町



富士見町

Fujimi town

標高1000m。

この町に近づくと空気が変わる、と人は言う。

高原生まれのおいしい空気に、おいしい野菜。

昼はまるで富士山を見下ろす景色に、夜は星が降り注ぐ。

冬には真っ白な雪が子どもたちの遊び場になり、

寒さは人のあたたかさに気づかせてくれる。

全ては、この町に届く、空からの贈り物。

# 01 課題

---

# 02 可能性

---


# 03 施策

---



前半：情報共有





富士見町の暮らしを  
これからも支え続けるために  
「今」できることは？





# 共に創り、次世代につなぐ

1

✓ 選択：財政・人的な余力を創る

2

✓ 投資：人と産業に投資し、収入を確保



3

✓ 全ての世代の暮らしを支える財源を生み出す

# 令和8年度 町長方針 【基本方針】

## 1. 共に創るまちづくりの推進

(情報共有・対話・反映・協働)

## 2. 選択と投資

(全世代の住民の暮らしを支え続けるための財源確保)

## 3. 第6次総合計画の前期基本計画推進と 後期基本計画策定準備



# 【重点施策】

## 選択

1. 住民との対話から創る行財政改革の実行

## 投資

2. 若い世代が帰りたくなるまちに向けた整備・発信  
(教育・仕事・住まい)

3. 農地を担い手につなぐ

## 住民の暮らしを支え続けるまちづくり

4. 地域で暮らし続ける公共交通・拠点を整備する

5. いつまでも元気で活躍できる生活の支援



**住民福祉の維持向上を目的とした**

**支出を減らし(選択)**

**収入を増やす(投資)**

**施策とは？**

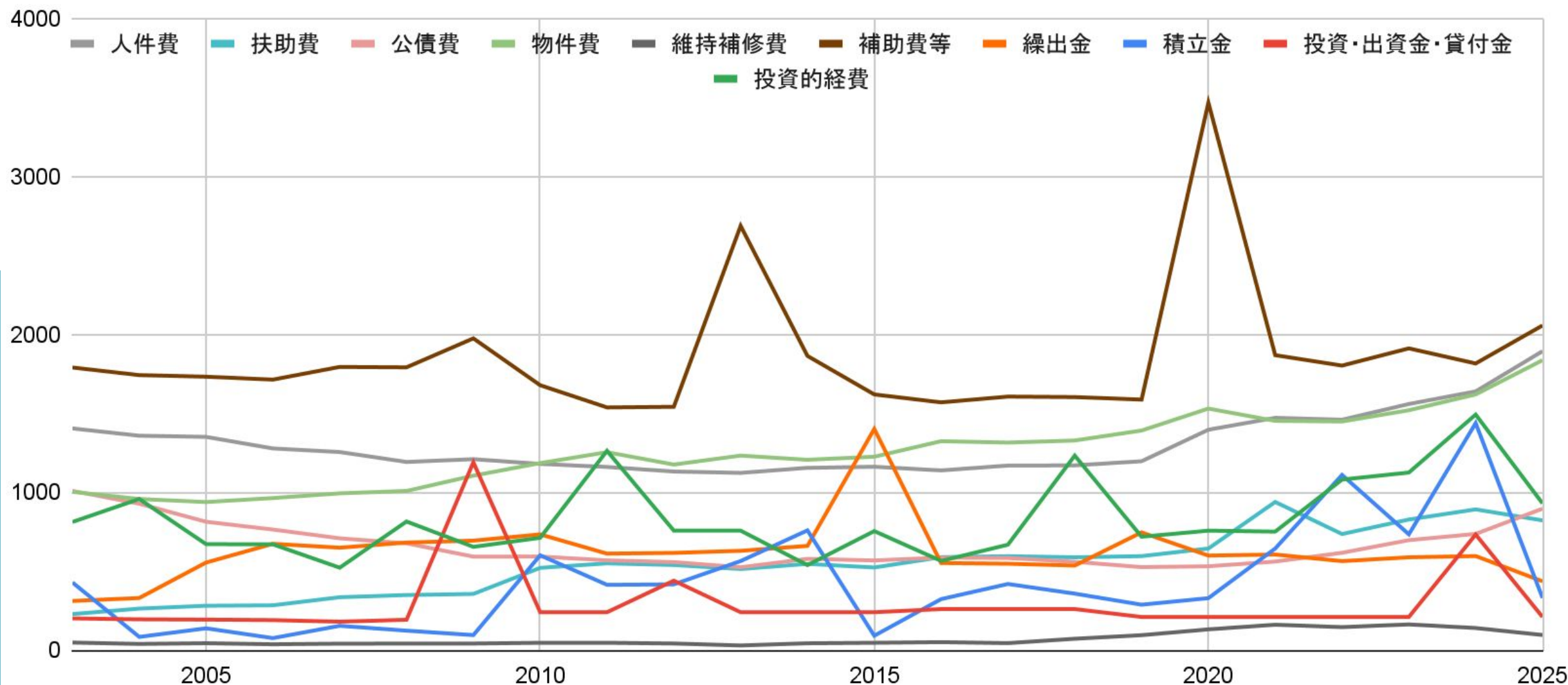




# 選択(財政・人的な余力づくり)

## 富士見町の性質別支出の推移 (百万円)

富士見町決算カードから作成

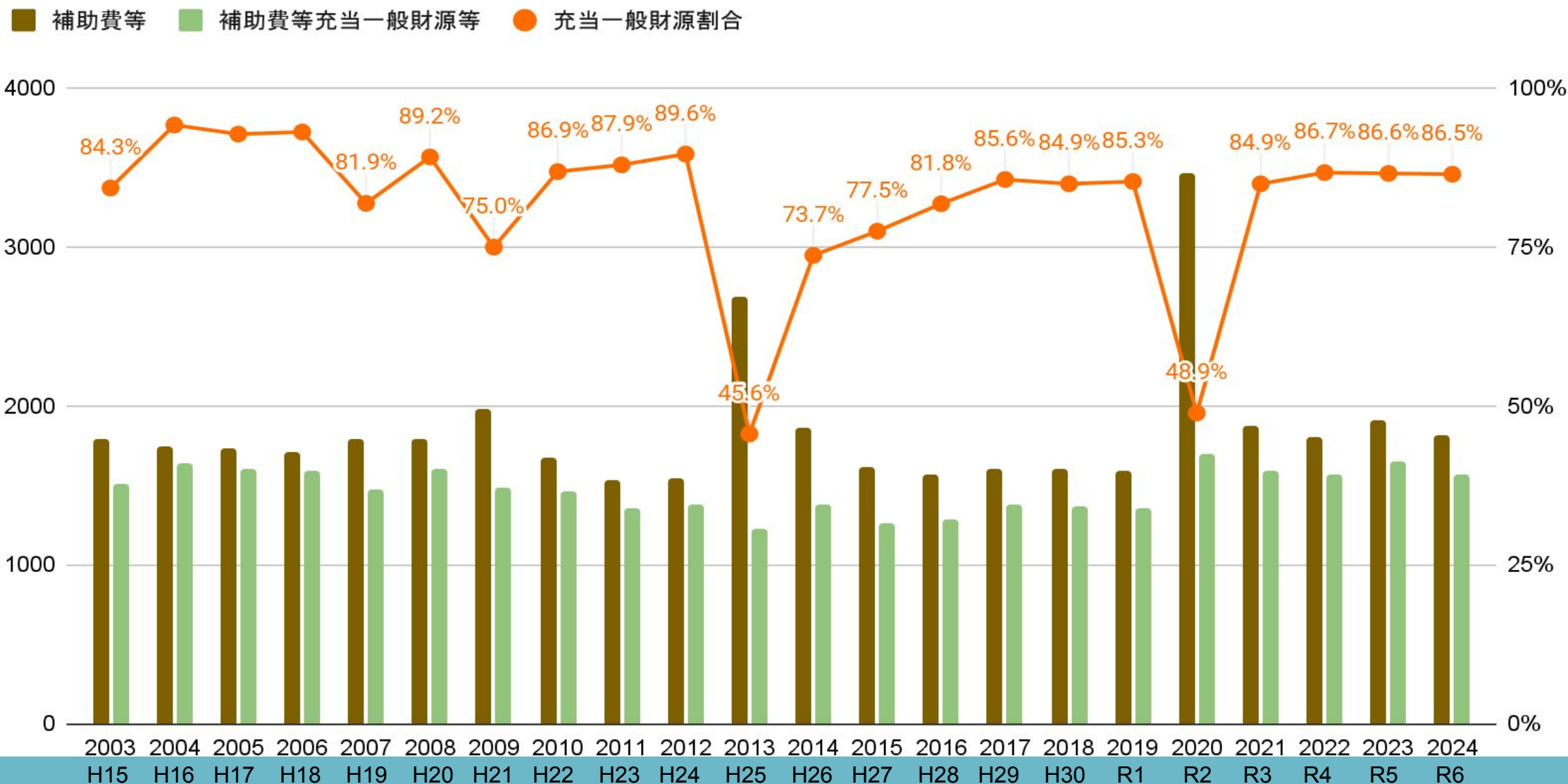




# 選択(財政・人的な余力づくり)

## 富士見町の補助費等の推移 (百万円)

富士見町決算カードから作成

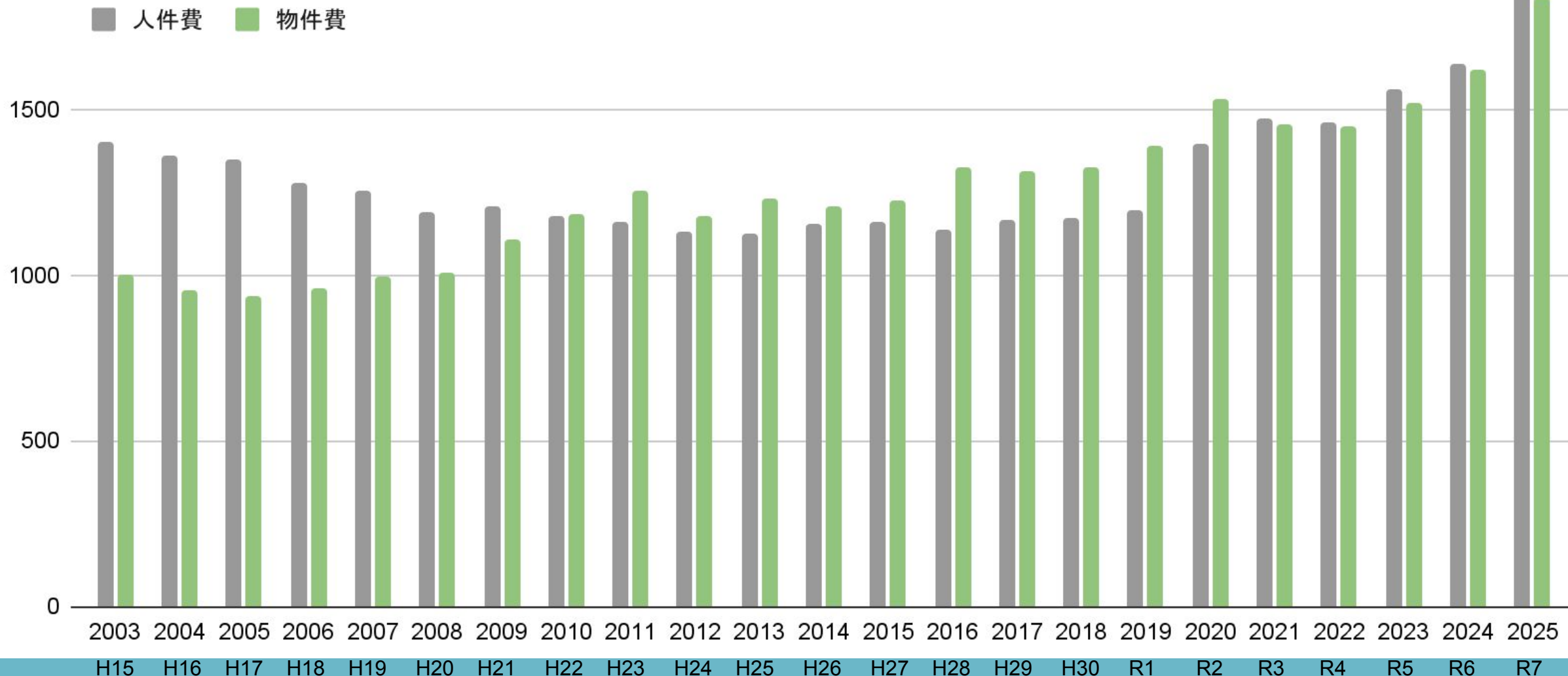




# 選択(財政・人的な余力づくり)

## 富士見町の人件費・物件費の推移 (百万円)

富士見町決算カードから作成



## 1. 住民との対話から創る行財政改革の実行

- テーマごとの対話の会を通年開催
- 各審議会や委員会で意見 / 年齢 / 性別の多様性を担保するための仕組みづくり
- 行財政改革審議会での基本方針と補助金基本指針の策定
- 町職員の多様な働き方(リモートワーク / 副業/カムバック採用など)や、仕事と子育て / 介護の両立を応援

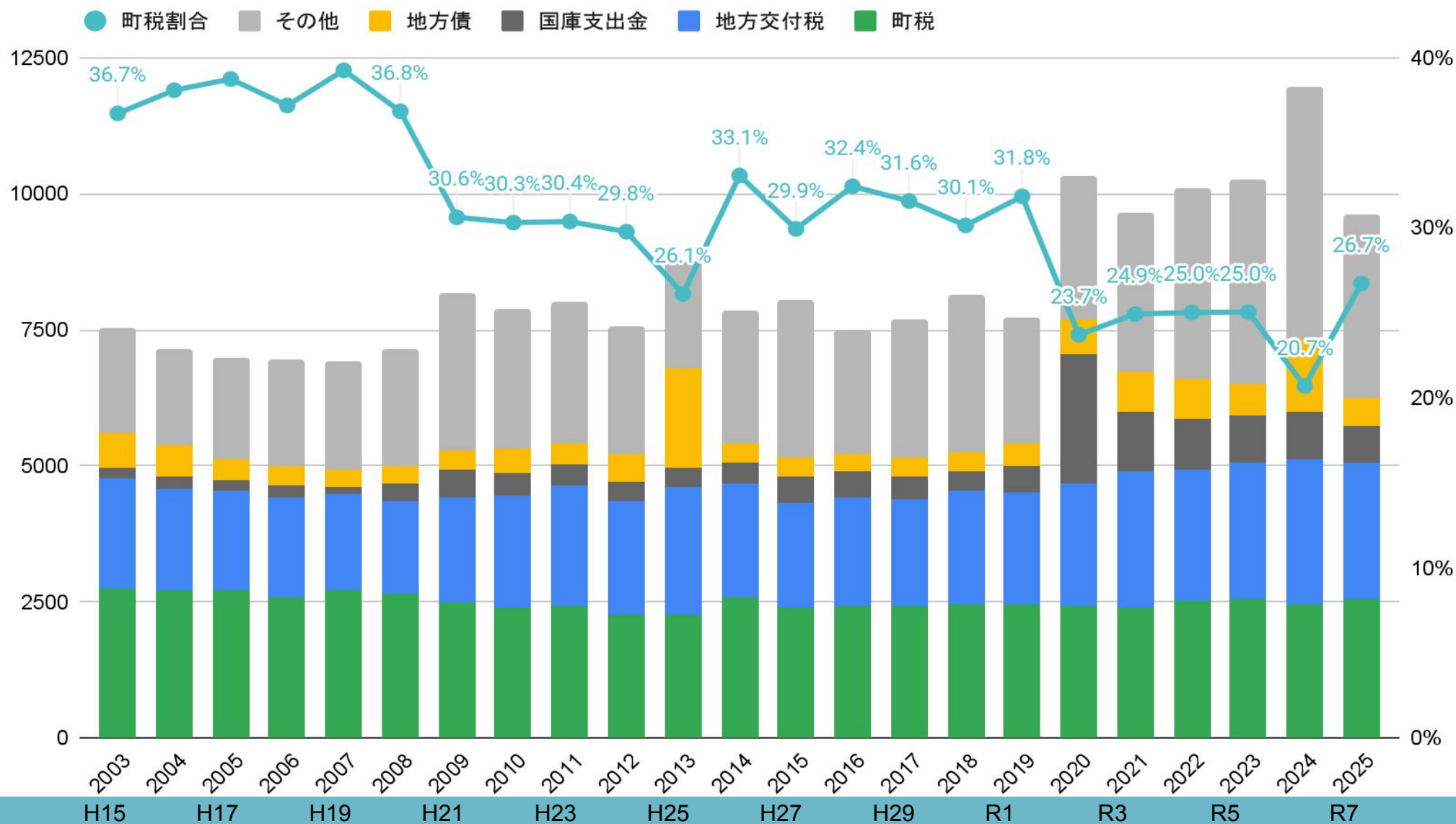




# 投資(収入の確保)

## 富士見町の歳入推移 (百万円)

富士見町決算カードから作成



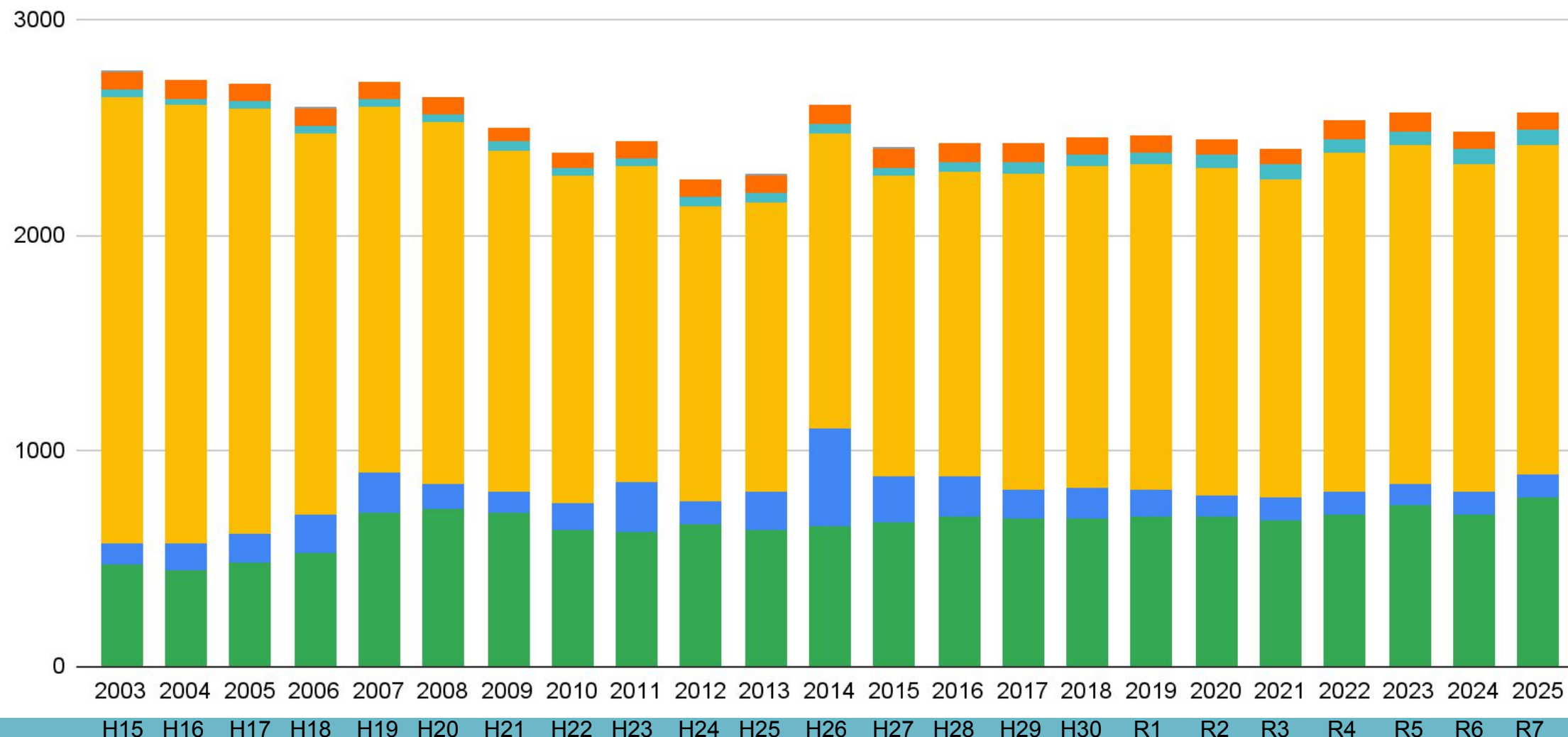


# 投資（収入の確保）

## 富士見町の町税内訳の推移（百万円）

富士見町決算カードから作成

入湯税 鉱産税 町たばこ税 軽自動車税 固定資産税 町民税（法人） 町民税（個人）

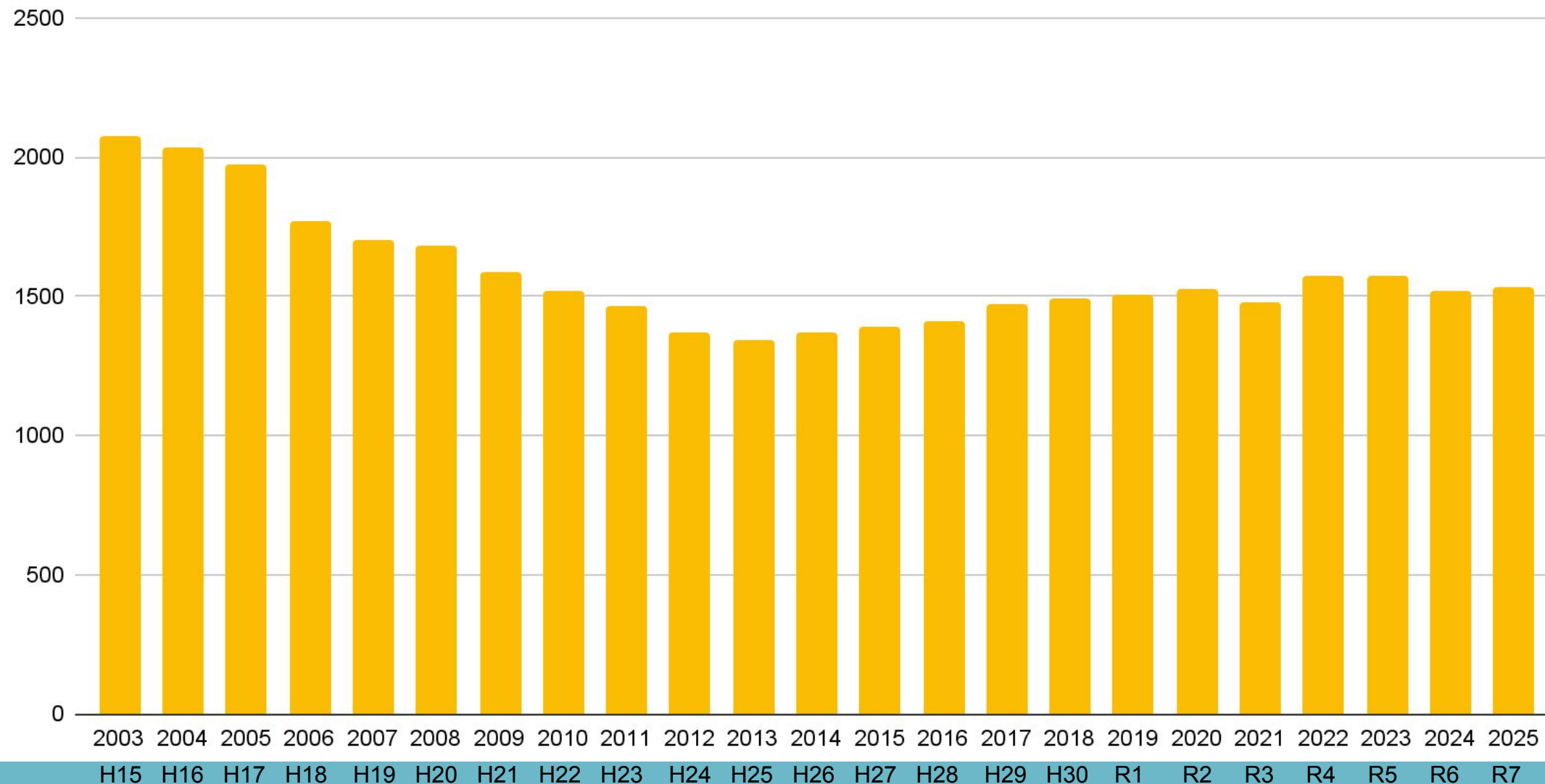




# 投資（収入の確保）

富士見町決算カードから作成

## 富士見町の固定資産税の推移（百万円）







# 投資（収入の確保）

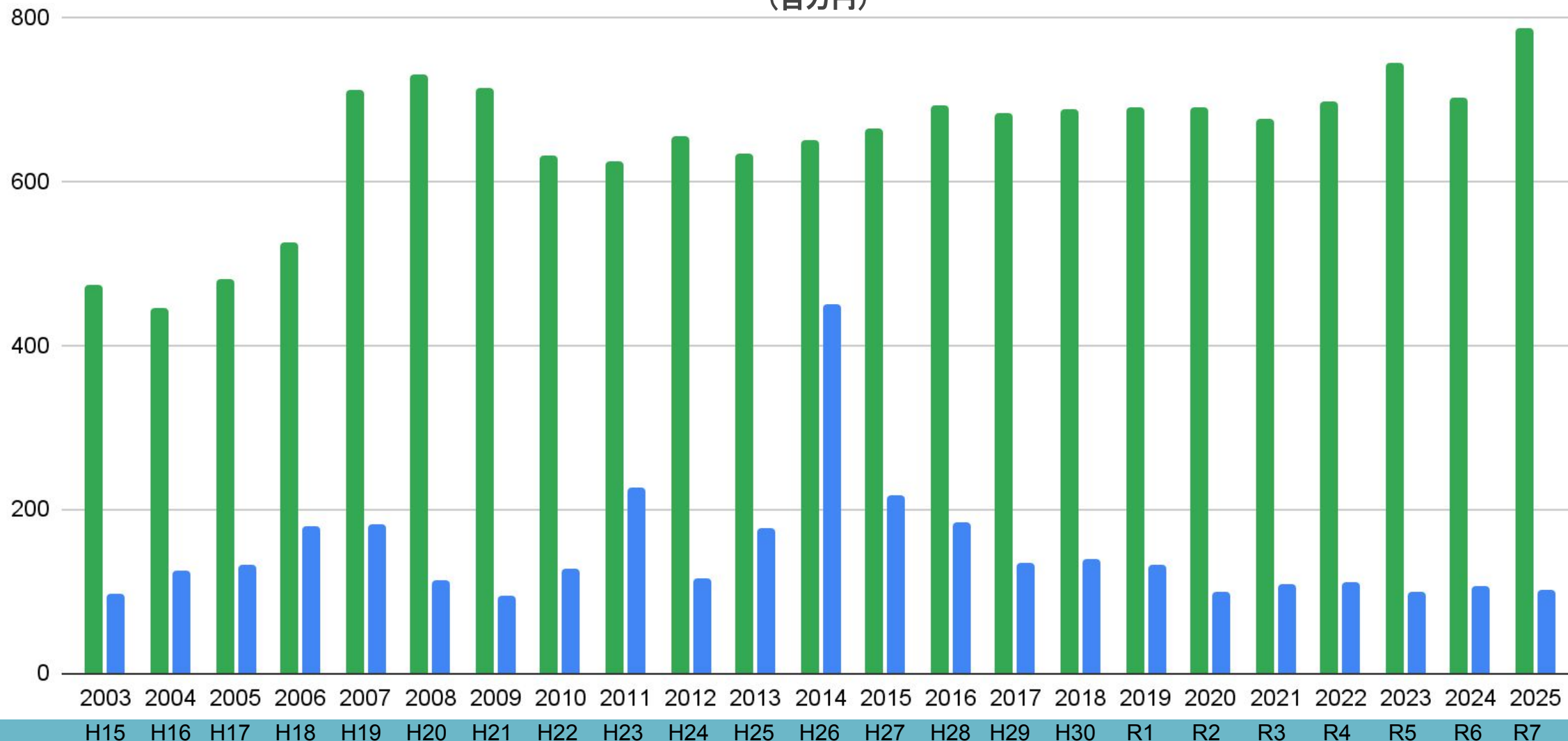
富士見町決算カードから作成

■ 町民税（個人）

■ 町民税（法人）

## 富士見町の個人税と法人税の推移

（百万円）



## 2. 若い世代が帰りたくなるまちに向けた整備・発信

### ターゲットに魅力が伝わる情報発信

(各課統一したブランディングや数値目標含むマーケティング戦略づくりと活用、 SNS/画像/動画の活用)

#### 教育

- 首長部局と教育委員会部局の連携強化
- 小学校3校維持の可能性を住民と検討
- 地域資源を活用した教育環境の町外への効果的な情報発信

#### 仕事

- 観光地域づくり推進  
(観光協会組織強化)
- 諏訪圏域+北杜市にある企業の情報発信に向けた連携
- 創業支援

#### 住まい

- 宅地と物件づくり
- 区加入率向上に向けた取り組み

### 3. 農地を担い手につなぐ

- 農地のマッチング支援とアフターサポートの運用検討
- 再基盤整備の推進と農業法人との連携強化



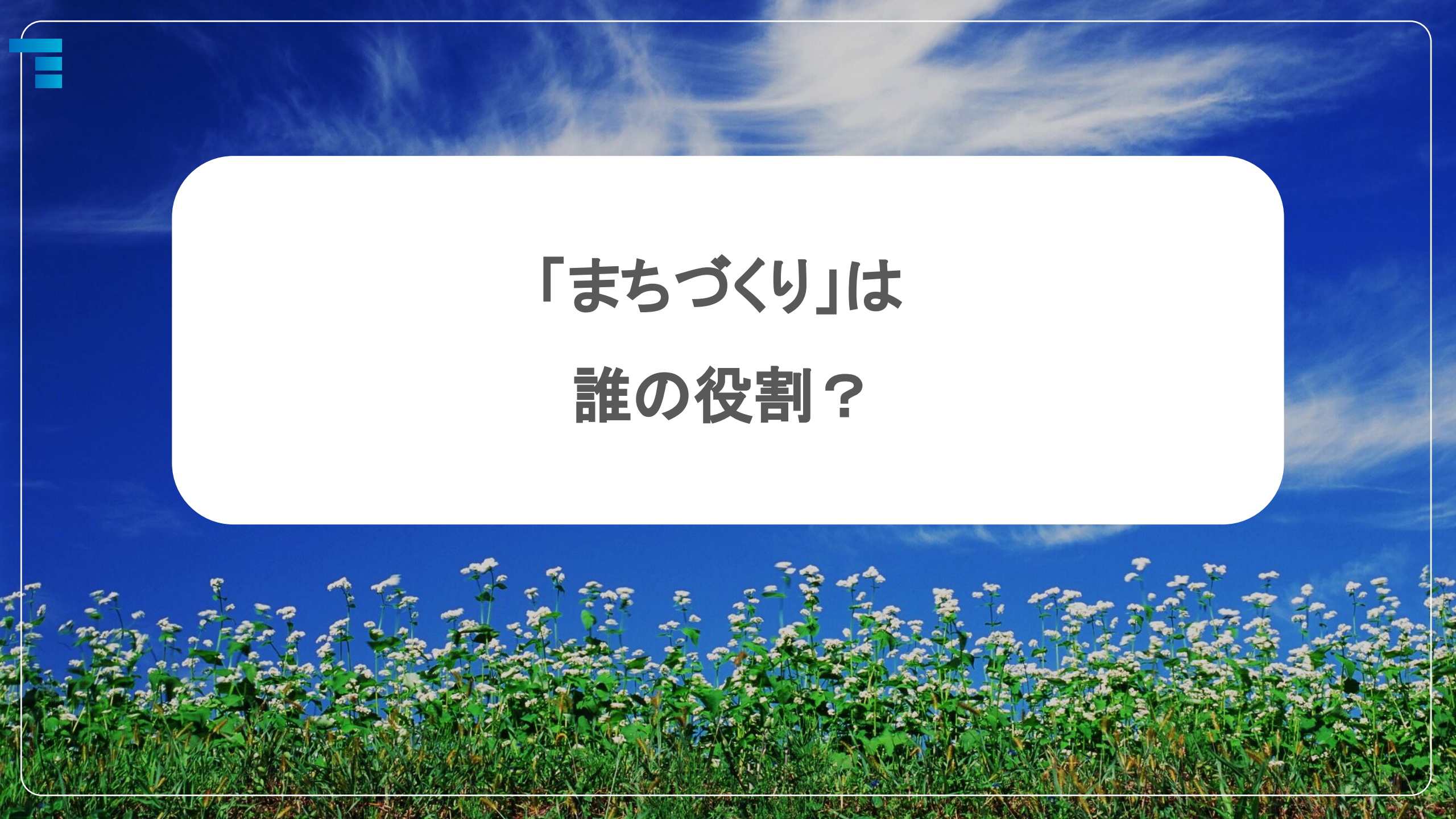
## 4. 地域で暮らし続ける公共交通・拠点を整備する

- 朝夕の定時定路線に加えた、デマンド交通強化の検証
- 富士見駅を中心とした都市計画道路の見直しとまちづくり
- 新井戸尻考古館と藤内遺跡を結ぶ信濃境駅を中心とした地域づくり
- 集落支援員の旧村単位への配置

（住民と連携した地域拠点づくりの検討や、地域将来ビジョンの策定支援）

## 5. いつまでも元気で活躍できる生活の支援

- 健康寿命促進に向けた情報発信とシニア活躍の機会づくり
- 介護人材確保に向けた待遇向上

The background of the slide is a vibrant blue sky with wispy white clouds. At the bottom, there is a field of green plants with clusters of small white flowers. In the top-left corner, there is a small blue graphic consisting of three horizontal bars of increasing length.

# 「まちづくり」は 誰の役割？



The background of the slide is a vibrant blue sky with wispy white clouds. At the bottom, there is a field of green plants with small white flowers. In the top-left corner, there is a small blue graphic consisting of three horizontal bars of increasing length.

「共に創る」

対話・自分ごと化・提案・協働の  
まちづくり



# 住民対話の意義

1

## ✓ 住民ニーズに合った制度設計

建設的な意見には情報が必要、町の計画など情報は住民のもの

2

## ✓ 対立の構造や事業中断を生まない

急がば回れ(事業中断による時間や税金のロスが大きい)

3

## ✓ 住民のまちづくりの自分ごと化

行政だけで全てを担えない





**富士見町は大きな可能性を持つ町です。**

**手遅れになる前に今、課題に向き合い**

**最大限可能性を伸ばし**

**共に富士見町を次世代に繋いでいきましょう。**





# 本日の流れ

## 内容

＊昨年度までの住民懇談会とは内容を大きく変更しています。

### 情報共有

- ① 課題（人口推計や財政シミュレーション）と可能性
- ② 住民福祉の維持向上のために必要な「選択と投資」の政策



### グループワーク

- ① 選択（支出減）と投資（収入増）のために住民・行政ができること
- ② 各グループで話し合った内容を全体に共有





# グループワークの流れ

否定しないこと・聞くことを大切に！

## 自己紹介

- 名前
- 出身・在住地区
- 参加した理由

1人1分以内  
5~7分

## ワークショップ

住民福祉の維持向上に必要な

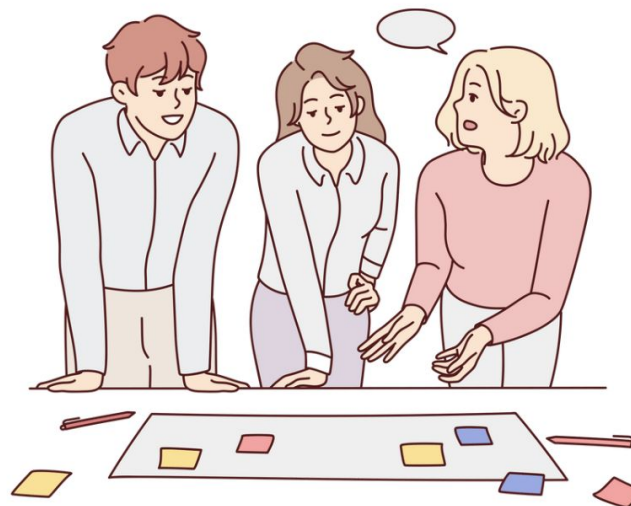
- 選択(支出減)
- 投資(収入増)のために  
行政と住民ができること

30分

## 全体共有

代表者を選び  
各グループで話し合った  
内容を紹介

各グループ3分以内  
10分



## 選択(支出減)

- **事業の見直し**
  - 棚卸しと効果検証
  - 補助金の基本指針策定
- **公共施設の見直し**
- **生産性向上**
  - 業務効率化・DX
  - 働き方改革

## 投資(収入増)

- **新たな収入源の開拓**
  - 企業版ふるさと納税
  - 固定資産・償却資産税
- **移住定住** (教育・住まい・仕事)
- **観光地域づくり** (長期滞在型)
- **農業** (稼ぐ農業と里山を守る農業)
- **情報発信**

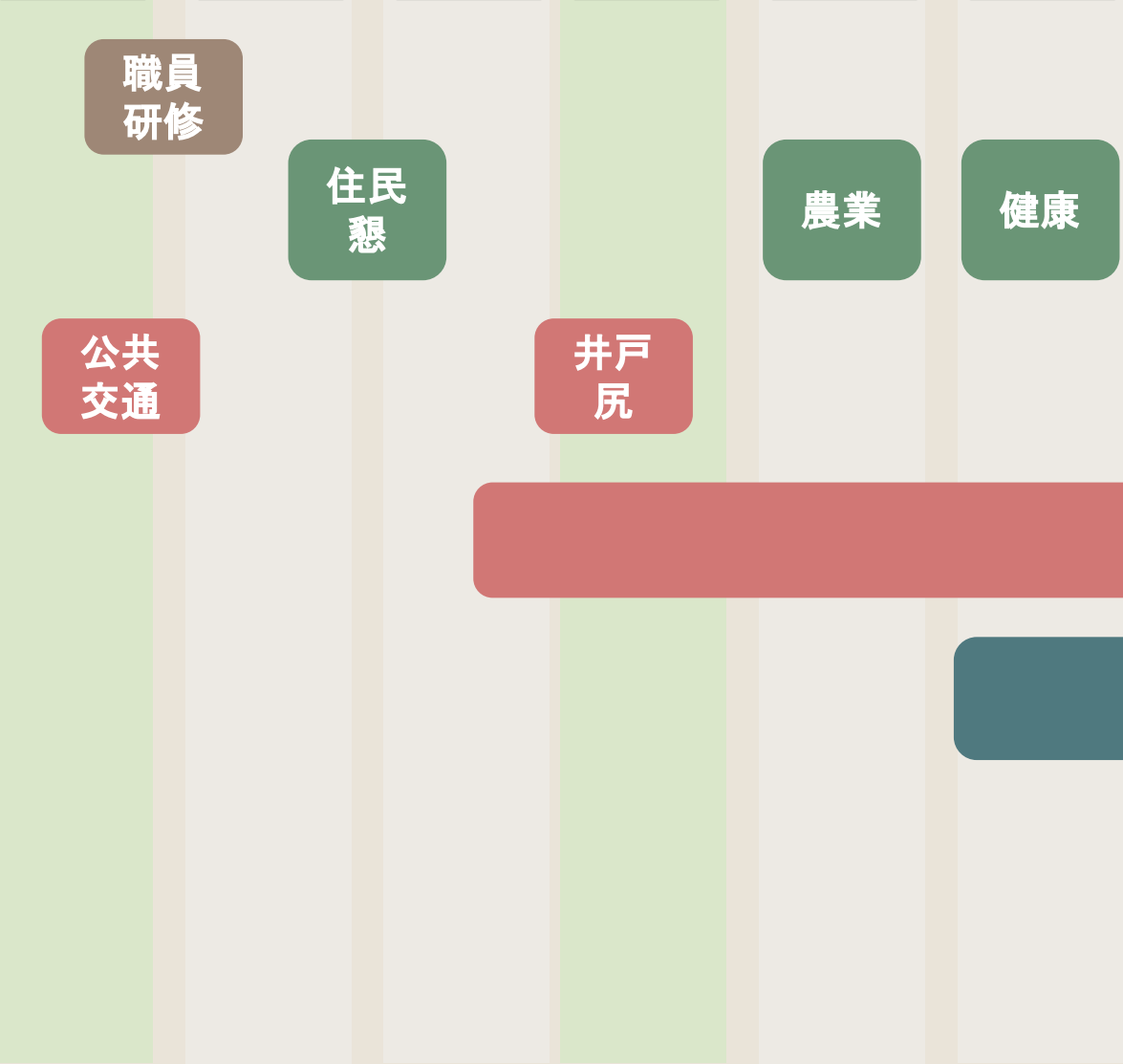


# 対話の会全体 年間スケジュール(案)

- 組織
- 移動町長室
- 各課予定
- 審議会

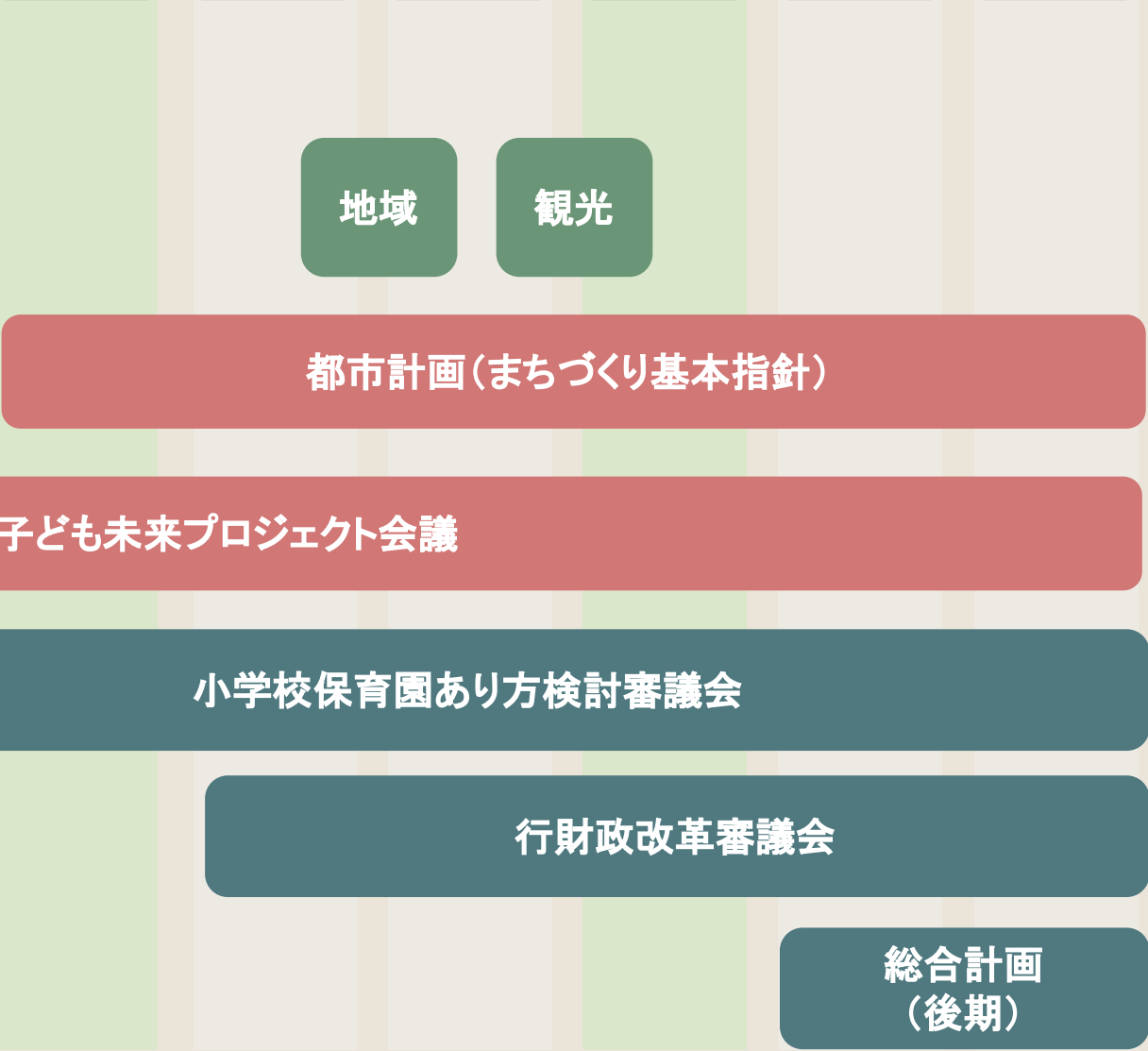
2025/R7年

- 9月
- 10月
- 11月
- 12月
- 1月
- 2月



2026/R8年

- 3月
- 4月
- 5月
- 6月
- 7月
- 8月



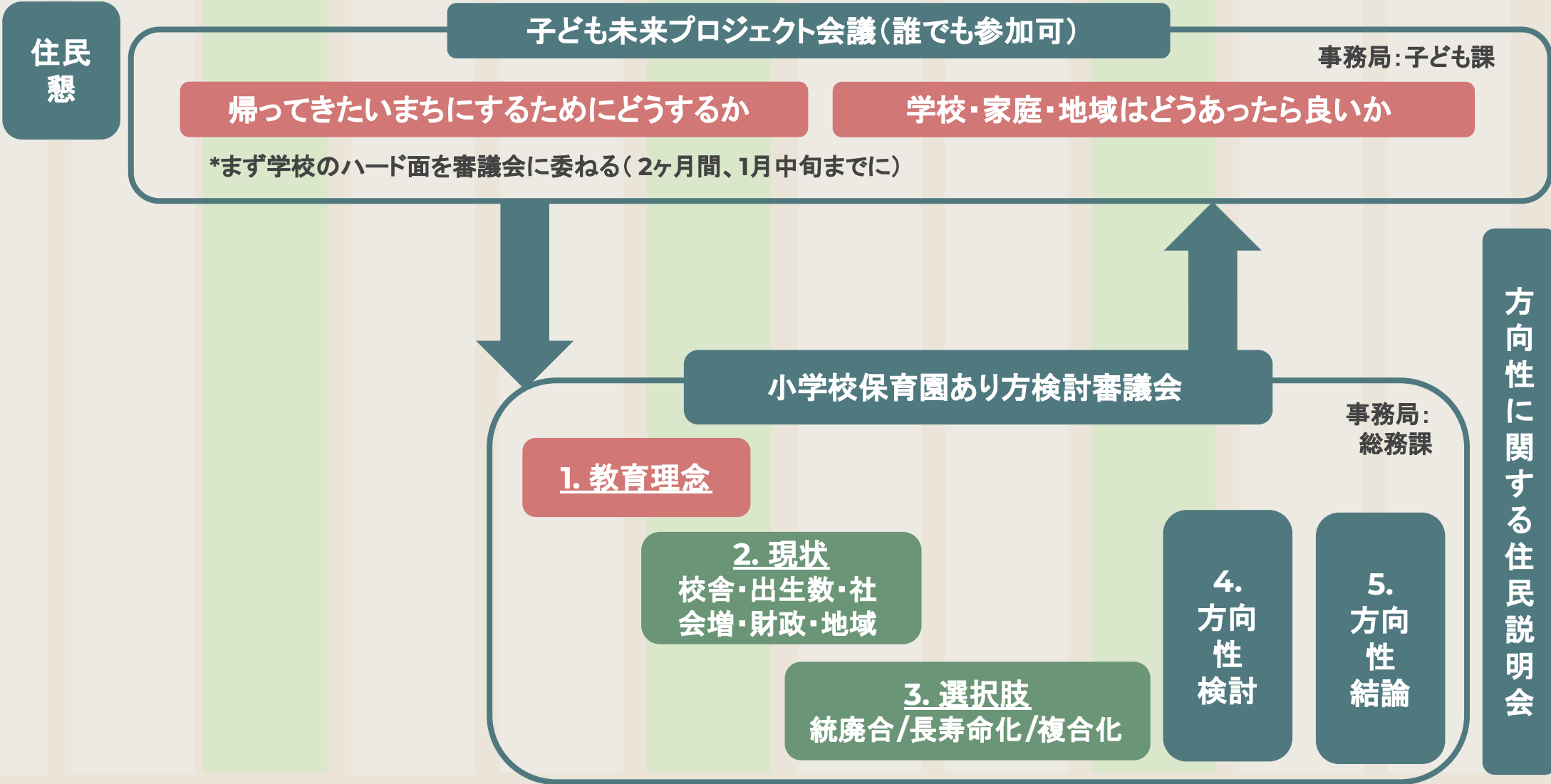
# 子ども・小学校保育園関係詳細

2025/R7年

2026/R8年

- 住民参加
- 首長部局
- 教育委員会

- 9月
- 10月
- 11月
- 12月
- 1月
- 2月
- 3月
- 4月
- 5月
- 6月
- 7月
- 8月





財政用語	説 明
生産年齢人口	・国内の生産活動を支える中核となる 15歳から64歳までの人口層を指します。この人口層は、経済活動の中心を担い、社会保障制度の財源としての役割も果たしています。
高齢化率	・総人口またはある地域の人口に占める 65歳以上の高齢者人口の割合を指します。
社会増	・他市町村から引っ越してきた人の数が、引っ越して出て行った人の数より多いことで、その町の人口が増えること。 たとえば、他の町から引っ越してくる人が 100人、出ていく人が80人なら、差の20人分が「社会増」です。
公共施設等 総合管理計画	・地方自治体が保有する公共施設やインフラ資産を総合的かつ計画的に管理するための計画です。
LCC	・建物の建築費用から廃棄するまでの全期間で発生する総合的なコストを、ライフサイクルコスト (LCC)といいます。初期費用だけでなく、ランニングコストとなる保守・メンテナンス費用、エネルギーコスト、最終的な処分に必要な廃棄処理費用を含めることで、全体のコストを可視化できます。
投資的経費	・社会資本(道路・各種施設等)の整備など、支出の効果が将来に渡り持続するものにかかる経費です。
義務的経費	・自治体が毎年「必ず支出しなければならないお金」のことです。職員の「人件費」や、高齢者・子育て支援などの「扶助費」、借金の返済にあたる「公債費」など。
扶助費	・生活に困っている人や子育てをしている世帯、障害者、高齢者、児童などに対し、その生活を維持するために国や地方公共団体が支出する費用を指します。
補助費	・公益性があると認められる特定の事務や事業の実施を支援するための交付金のこと。 地方公共団体が行う国・県等補助事業や、各種団体への助成金などが含まれる。





財政用語	説 明
人件費と物件費	・人件費は従業員への給与や賞与、福利厚生費などの人に関する費用を指します。 ・物件費は委託料、需用費（消耗品費、光熱水費、旅費、手数料、使用料など、消費的な性質を持つ費用を指します。
町民税 （個人・法人）	・個人に対して課税されるものを個人住民税、法人に対して課税されるものを法人住民税という。
固定資産税	・賦課期日（毎年1月1日）現在の固定資産（土地・家屋・償却資産）の所有者に、その資産の価値（価格）をもとに納めていただく税金のこと。
一般財源（充当 一般財源率	・国や地方公共団体が、その使い道を特定の目的に限定されずに自由に使えるお金のこと。自治体が地域の特性や住民のニーズに合わせて、様々な事業や経費に柔軟に活用できる重要な財源。
経常収支比率	・人件費など経常的に支出する「経常経費充当一般財源」が、税収や普通交付税など経常的な収入である「経常一般財源等」に占める割合をいい、「財政構造の弾力性」の度合いを判断する指標の1つ。 ※100%に近いと弾力性がなく、独自の施策ができないなど政策の自由度が低くなる。
起債	・道路や公共施設など将来に渡り長く利用するハードの整備を行うため、地方公共団体が国や金融機関などの外部機関から、必要な資金を調達すること。いわゆる借入金のこと。
公債費	・元金の返済（借りたお金を返す部分）と利子の支払い（借金の利息）、この 2つを合わせたのが公債費。「自治体のローン返済にあたるお金」。
基金	・災害が起きたとき、また大きな事業をするとき、将来の財政が苦しくなったときの備えとなる町の貯金のこと。